注３ **大学番号：私122**

届出

［平成29年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

日本体育大学　スポーツ文化学部

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本体育大学

平成３０年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　学生支援センター学習支援部

職名・氏名　事務長（ジムチョウ）　菊名（キクナ）　博之（ヒロユキ）

電話番号　０３－５７０６－０９０３

（夜間）　０３－５７０６－０９０２

ＦＡＸ　０３－５７０６－０９８４

ｅ－mail　kikuna@nittai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成３０年３月２６日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ文化学部

<武道教育学科>　　ページ

1．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
2．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
3．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
4．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
5．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
6．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29
7．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　31

<スポーツ国際学科>　　ページ

1．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35
2．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39
3．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46
4．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　48
5．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　50
6．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　61
7．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　63

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人日本体育大学

（2）大　学　名

日本体育大学

（3）大学の位置

〒１５８－８５０８
東京都世田谷区深沢七丁目１番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ マツナミ　ケンシロウ ） 松浪　健四郎 （ 平成２３年６月）		
学　　長	（ タニガマ　リョウショウ ） 谷釜　了正 （ 平成２２年９月）	（ グシケン　コウジ） 具志堅　幸司 （平成２９年４月）	任期満了のため変更 （平成29年4月1日）（29）
学 部 長	（ ヤギサワ　マコト） 八木沢　誠 （平成２９年４月）		
学科長等 （武道教育学科長）	（ヤマモト　ヨウスケ） 山本　洋祐 （平成２９年４月）	（サイトウ　カズオ） 齋藤　一雄 （平成３０年４月）	辞任による変更 （平成３０年４月１日）（30）

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ文化学部 武道教育学科 学士（体育学）	体育関係	4年	100人	－　年次 人 －	400人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	100人 （　－　） ［　－　］	－　人	100人 （　－　） ［　－　］	－　人	人 （　　） ［　　］	人	人 （　　） ［　　］	人	1.02倍	
志願者数	169 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	143 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
受験者数	168 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	142 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
合格者数	110 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	121 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
B　入学者数	104 （　－　） ［１］	－ （　－　） ［　－　］	100 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
入学定員超過率 B／A	1.04		1.00							

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	104 [2] (－)	－ [－] (－)	108 [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			102 [2] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	104 [2] (－)		210 [2] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	104　人	2　人	平成29年度	2　人	0　人	病気・けが(1名)、就学の意思なし(1名)
平成30年度	210　人	0　人	平成29年度	0　人	0　人	
			平成30年度	0　人	0　人	
平成31年度	－　人	－　人	平成29年度	－　人	－　人	
			平成30年度	－　人	－　人	
			平成31年度	－　人	－　人	
平成32年度	－　人	－　人	平成29年度	－　人	－　人	
			平成30年度	－　人	－　人	
			平成31年度	－　人	－　人	
			平成32年度	－　人	－　人	
合　計	314 人	2 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 2 / 104 ＝ 1.92 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 0 / 210 ＝ 0 %

【平成31年度】

平成31年度の退学者数(a) / 平成31年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ #VALUE! %

【平成32年度】

平成32年度の退学者数(a) / 平成32年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ #VALUE! %

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜スポーツ文化学部　武道教育学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1								1
			基礎英語Ⅰ	1前	1								1
			基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							2
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2							1
		自由	海外語学研修	2後			2						1
			英会話	3通			2						1
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
		小計（20科目）			6	16	12	0	0	0	0	0	14
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2								1
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1	1					
		選択1	集団行動実技	1前		1					1		
			集団行動演習	2前		1					1		
			スポーツと組織	2後		2					1		
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1								3
			スポーツ文化研究C	3通	2			5	2		5		
			スポーツ文化研究D	4通	2			5	2		5		
		自由2	卒業研究	4通			2	5	2		5		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1						2
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								2
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1	1					
		小計（20科目）		－	13	8	8	5	2	0	5	0	14
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2								1
			スポーツ史	1後	2								1
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2			1				
			スポーツ医学	2前		2							1
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
		小計（10科目）		－	8	12	0	0	1	0	0	0	9
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2							1
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
		小計（5科目）		－	0	10	0	0	0	0	0	0	4

【平成３０年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1								2
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1								2
			基礎英語Ⅰ	1前	1								2
			基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							1
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2							1
		自由	海外語学研修	2後			2						1
			英会話	3通			2						1
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
		小計（20科目）			6	16	12	0	0	0	0	0	16
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2								1
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1	1					
		選択1	集団行動実技	1前		1					1		
			集団行動演習（未開講）	2前		1					1		
			スポーツと組織	2後		2					1		
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1			1					0
			スポーツ文化研究C	3通	2			5	2		5		
			スポーツ文化研究D	4通	2			5	2		5		
		自由2	卒業研究	4通			2	5	2		5		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1						2
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								1
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1	1					
		小計（20科目）		－	13	8	8	5	2	0	5	0	12
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2								1
			スポーツ史	1後	2								1
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2			1				
			スポーツ医学	2前		2							2
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
		小計（10科目）		－	8	12	0	0	1	0	0	0	10
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2							1
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
		小計（5科目）		－	0	10	0	0	0	0	0	0	4

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1								1
			運動方法・器械運動	1後	1								1
			運動方法・陸上競技	1前	1								1
			運動方法・水泳	1前	1								1
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1								1
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1						1		1
			運動方法・球技A	3前	1								
			運動方法・球技B	3後	1								
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1		1					
			運動方法・武道（剣道）	1前		1		1			1		
			運動方法・武道（相撲）	1前		1		1			1		
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1		1					
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	3	0	8
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2								1
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2								1
			武道論	2後	2			1					
			礼法	1前	1								2
		小計（5科目）		－	9	0	0	1	0	0	0	0	5
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニクス	3前		2		1					
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学（食品学を含む）	2前		2							1
			学校保健（小児保健・精神保健を含む）	2後		2							1
			学校安全（救急処置を含む）	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2							1
			国際保健学	3後		2							1
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2							1
			比較舞踊学	2前		2							1
		小計（16科目）		－	0	32	0	1	0	0	0	0	13
学科専門科目	基幹科目（理論）	必修	武道教育論	2前	2			1					
			武道技術論	3後	2			2					6
			稽古論	3後	2								1
			比較武道文化論	2前	2			1					
		選択	武道国際普及論	2前		2					1		
			武道国際交流論	2後		2		1					
		小計（6科目）		－	8	4	0	3	0	0	1	0	7
	基幹科目（実践）	選択	伝統文化交流実習A	2後		1		1					
			伝統文化交流実習B	2後		1		1					
		小計（2科目）		－	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	展開科目（理論）	選択	武道科教育法	3後		2		1					
			武道教育研究法	3前		1							
			武道用具論	3前		2		1					
			武道文献講読	4後		2		1					
			武道史各論	2後		2							2
			舞踊創作論（作品論を含む）	2前		2							1
			古典芸能論（能・舞踊）	4後		2							1
			芸能鑑賞論	4前		2							1
			伝統芸能交流論	2前		2							1
		小計（9科目）		－	0	17	0	2	0	0	0	0	7
学科専門科目	展開科目（実践）	選択1	国際武術実技	1後		1							1
			競技スポーツ実技	3後		1							1
			武道実技（弓道）	2前		1							2
			武道実技（形）	3前		1							1
		選択2	専攻武道実技Ⅰ	1通		2		1			2		5
			専攻武道実技Ⅱ	2通		2		1			2		5
			専攻武道実技Ⅲ	3通		2		1			1		6
			専攻武道実技Ⅳ	4通		2		1			1		6
			伝統芸能実技1	1前		1							1
			伝統芸能実技2	1後		1					1		
			伝統芸能実技3	2前		1							1
			伝統芸能実技4	2後		1							1
			伝統芸能実技5	3前		1							1
			伝統芸能実技6	3後		1					1		
			伝統芸能実習Ⅰ	2後		1							1
			伝統芸能実習Ⅱ	3後		1					1		
		小計（16科目）		－	0	20	0	2	0	0	4	0	16

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1						1		0
			運動方法・器械運動	1後	1								2
			運動方法・陸上競技	1前	1								2
			運動方法・水泳	1前	1								4
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1								1
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1						1		1
			運動方法・球技A	3前	1								1
			運動方法・球技B	3後	1								1
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1		1					1
			運動方法・武道（剣道）	1前		1		1			1		
			運動方法・武道（相撲）	1前		1		1			1		
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1		1					
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	4	0	13
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2								1
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2								1
			武道論	2後	2			1					
			礼法	1前	1								2
		小計（5科目）		－	9	0	0	1	0	0	0	0	5
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニクス	3前		2		1					
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学（食品学を含む）	2前		2							1
			学校保健（小児保健・精神保健を含む）	2後		2							1
			学校安全（救急処置を含む）	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2							1
			国際保健学	3後		2							1
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2							1
			比較舞踊学	2前		2							1
		小計（16科目）		－	0	32	0	1	0	0	0	0	13
学科専門科目	基幹科目（理論）	必修	武道教育論	2前	2			0					1
			武道技術論	3後	2			2					6
			稽古論	3後	2								1
			比較武道文化論	2前	2			1					
		選択	武道国際普及論	2前		2					1		
			武道国際交流論	2後		2		1					
		小計（6科目）		－	8	4	0	3	0	0	1	0	7
	基幹科目（実践）	選択	伝統文化交流実習A	2後		1		1					
			伝統文化交流実習B	2後		1		1					
		小計（2科目）		－	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	展開科目（理論）	選択	武道科教育法	3後		2		1					
			武道教育研究法	3前		1					1		1
			武道用具論	3前		2		1					
			武道文献講読	4後		2		1					
			武道史各論	2後		2					1		1
			舞踊創作論（作品論を含む）	2前		2							1
			古典芸能論（能・舞踊）	4後		2							1
			芸能鑑賞論	4前		2							1
			伝統芸能交流論	2前		2							1
		小計（9科目）		－	0	17	0	2	0	0	2	0	6
学科専門科目	展開科目（実践）	選択1	国際武術実技	1後		1							1
			競技スポーツ実技	3後		1							1
			武道実技（弓道）	2前		1							2
			武道実技（形）	3前		1							1
		選択2	専攻武道実技Ⅰ	1通		2		2			1		5
			専攻武道実技Ⅱ	2通		2		1			1		6
			専攻武道実技Ⅲ	3通		2		1			1		6
			専攻武道実技Ⅳ	4通		2		1			1		6
			伝統芸能実技1	1前		1							1
			伝統芸能実技2	1後		1					1		
			伝統芸能実技3	2前		1							1
			伝統芸能実技4	2後		1							1
			伝統芸能実技5	3前		1							1
			伝統芸能実技6	3後		1					1		
			伝統芸能実習Ⅰ	2後		1							1
			伝統芸能実習Ⅱ	3後		1					1		
		小計（16科目）		－	0	20	0	2	0	0	3	0	20

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2		1					
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			学習指導論	3前		2							1
			道徳教育の研究	2前		2							1
			特別活動の研究	2後		2							1
			生徒指導論（進路指導を含む）	3前		2			1				
			教育カウンセリング	3後		2							1
			教育経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1						1
			教育実習	4前			4						1
			教職実践演習	4後			2						1
		小計（17科目）		－	0	26	7	1	1	0	0	0	10
合計（140科目）				－	52	153	27	5	2	0	5	0	81

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、 ＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目8単位、選択から2単位以上、【基幹科目（実践）】選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から8単位以上、【展開科目（実践）】選択1から2単位以上、選択2から8単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位(年間)）	1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2		1					
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			教育の方法と技術	3前		2							1
			道徳教育の指導法	2前		2							1
			特別活動の指導法	2後		2							1
			生徒指導論（進路指導を含む）	3前		2			1				
			教育相談（カウンセリングを含む）	3後		2							1
			教育の制度と経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1						1
			教育実習	4前			4						1
			教職実践演習	4後			2						1
		小計（17科目）		－	0	26	7	1	1	0	0	0	10
合計（140科目）				－	52	153	27	5	2	0	5	0	**91**

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、 ＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目8単位、選択から2単位以上、【基幹科目（実践）】選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から8単位以上、【展開科目（実践）】選択1から2単位以上、選択2から8単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位(年間)）	1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

【平成２９年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1								1
			基礎英語Ⅰ	1前	1								1
			基礎英語Ⅱ	1後	1								1
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							1
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2							1
		自由	海外語学研修	2後			2						1
			英会話	3通			2						1
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
		小計（20科目）			6	16	12	0	0	0	0	0	14
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2								1
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1	1					
		選択1	集団行動実技（未開講）	1前		1					1		
			集団行動演習	2前		1					1		
			スポーツと組織	2後		2					1		
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1								3
			スポーツ文化研究C	3通	2			5	2		5		
			スポーツ文化研究D	4通	2			5	2		5		
		自由2	卒業研究	4通			2	5	2		5		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1						2
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								2
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1	1					
		小計（20科目）		－	13	8	8	5	2	0	5	0	14
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2								1
			スポーツ史	1後	2								1
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2			1				
			スポーツ医学	2前		2							1
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
		小計（10科目）		－	8	12	0	0	1	0	0	0	9
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2							1
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
		小計（5科目）		－	0	10	0	0	0	0	0	0	4

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1								1
			運動方法・器械運動	1後	1								2
			運動方法・陸上競技	1前	1								1
			運動方法・水泳	1前	1								3
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1								1
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1						1		1
			運動方法・球技A	3前	1								1
			運動方法・球技B	3後	1								1
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1		1					
			運動方法・武道（剣道）	1前		1		1			1		
			運動方法・武道（相撲）	1前		1		1			0		
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1		1					
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1		1					
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	2	0	11
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2								1
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2								1
			武道論	2後	2			1					
			礼法	1前	1								2
		小計（5科目）		－	9	0	0	1	0	0	0	0	5
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニクス	3前		2		1					
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学（食品学を含む）	2前		2							1
			学校保健（小児保健・精神保健を含む）	2後		2							1
			学校安全（救急処置を含む）	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2							1
			国際保健学	3後		2							1
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2							1
			比較舞踊学	2前		2							1
		小計（16科目）		－	0	32	0	1	0	0	0	0	13
学科専門科目	基幹科目（理論）	必修	武道教育論	2前	2			1					
			武道技術論	3後	2			2					6
			稽古論	3後	2								1
			比較武道文化論	2前	2			1					
		選択	武道国際普及論	2前		2					1		
			武道国際交流論	2後		2		1					
		小計（6科目）		－	8	4	0	3	0	0	1	0	7
	基幹科目（実践）	選択	伝統文化交流実習A	2後		1		1					
			伝統文化交流実習B	2後		1		1					
		小計（2科目）		－	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	展開科目（理論）	選択	武道科教育法	3後		2		1					
			武道教育研究法	3前		1					1		1
			武道用具論	3前		2		1					
			武道文献講読	4後		2		1					
			武道史各論	2後		2							2
			舞踊創作論（作品論を含む）	2前		2							1
			古典芸能論（能・舞踊）	4後		2							1
			芸能鑑賞論	4前		2							1
			伝統芸能交流論	2前		2							1
		小計（9科目）		－	0	17	0	2	0	0	1	0	7
学科専門科目	展開科目（実践）	選択1	国際武術実技	1後		1							1
			競技スポーツ実技	3後		1							1
			武道実技（弓道）	2前		1							2
			武道実技（形）	3前		1							1
		選択2	専攻武道実技Ⅰ	1通		2		2			1		5
			専攻武道実技Ⅱ	2通		2		1			2		5
			専攻武道実技Ⅲ	3通		2		1			1		6
			専攻武道実技Ⅳ	4通		2		1			1		6
			伝統芸能実技1	1前		1							1
			伝統芸能実技2	1後		1					1		
			伝統芸能実技3	2前		1							1
			伝統芸能実技4	2後		1							1
			伝統芸能実技5	3前		1							1
			伝統芸能実技6	3後		1					1		
			伝統芸能実習Ⅰ	2後		1							1
			伝統芸能実習Ⅱ	3後		1					1		
		小計（16科目）		－	0	20	0	2	0	0	4	0	16

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2		1					
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			教育の方法と技術	3前		2							1
			道徳教育の指導法	2前		2							1
			特別活動の指導法	2後		2							1
			生徒指導論（進路指導を含む）	3前		2			1				
			教育相談（カウンセリングを含む）	3後		2							1
			教育の制度と経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1						1
			教育実習	4前			4						1
			教職実践演習	4後			2						1
			小計（17科目）	－	0	26	7	1	1	0	0	0	10
合計（140科目）				－	52	153	27	5	2	0	5	0	85

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、 ＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目8単位、選択から2単位以上、【基幹科目（実践）】選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から8単位以上、【展開科目（実践）】選択1から2単位以上、選択2から8単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位（年間）） 1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・ 不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・担当教員1名就任辞退により、「哲学」の兼担・兼任教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員1名就任辞退により、「運動方法・器械運動」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼3」に変更。
・記載漏れにより、「運動方法・球技A」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・記載漏れにより、「運動方法・球技B」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（相撲）」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・学部専門科目（体育実技）の専任教員等の配置・兼担・兼任教員数の変更により、専任教員等の配置の小計を「助教3」から「助教2」、兼担・兼任教員数を「兼8」から「兼11」に変更。
・記入漏れにより、「武道教育研究法」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「専攻武道実技Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「学習指導論」から「教育の方法と技術」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「道徳教育の研究」から「道徳教育の指導法」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「特別活動の研究」から「特別活動の指導法」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「教育カウンセリング」から「教育相談（カウンセリングを含む）」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「教育経営」から「教育の制度と経営」に変更。
・上記理由により、合計欄の兼担・兼任教員数を「兼81」から「兼85」に変更。

【平成３０年度】

・時間割の都合により、「基礎英語Ⅰ」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅠ」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅡ」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・上記の理由により、学部共通科目・教養科目の専任教員等の配置を「兼14」から「兼16」に変更。
・時間割の都合により、「スポーツ文化研究B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼担・兼任教員数を「兼3」から「兼0」に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインA」の兼担・兼任教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・上記の理由により、学部共通科目・総合科目の兼担・兼任教員数を「兼14」から「兼10」に変更。
・教育指導体制充実のため、「スポーツ医学」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・上記の理由により、学部専門科目（理論）・基幹科目の兼担・兼任教員数を「兼9」から「兼10」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・体つくり運動（体操）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼0」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・陸上競技」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の兼担・兼任教員数を「兼3」から「兼4」に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（柔道）」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・上記の理由により、学部専門科目（体育実技）の専任教員等の配置・兼担・兼任教員数の変更により、専任教員等の配置の小計を「助教2」から「助教4」、「兼11」から「兼13」に変更。
・時間割の都合により、「武道教育論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「武道史各論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼担・兼任教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・上記の理由により、学科専門科目・展開科目（理論）の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」、兼担・兼任教員数を「兼7」から「兼6」に変更。
・時間割の都合により、「専攻武道実技Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」、兼担・兼任教員数を「兼5」から「兼6」に変更。
・上記の理由により、学科専門科目・展開科目（実践）の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」、兼担・兼任教員数を「兼16」から「兼20」に変更。
・上記理由により、合計欄の兼担・兼任教員数を「兼任85」から「兼任91」に変更。

（注）・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計（A）	
34 科目	91 科目	15 科目	140 科目	34 科目 [0]	91 科目 [0]	15 科目 [0]	140 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{140} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区　分		内　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	0㎡	0㎡	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	
	運動場用地	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	0㎡	0㎡	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰｺｰﾄ取得による増加（29）
	小　計	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	0㎡	0㎡	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	ゴルフ教場による増減（H30）
	その他	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	0㎡	0㎡	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	寄宿舎施設の収益事業による財産以降のための減少（29）
	合　計	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	0㎡	0㎡	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	
(2) 校舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
		68,314.75㎡ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~	0㎡	0㎡	68,314.75㎡ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~	横浜・健志台ｷｬﾝﾊﾟｽに保健医療学部ｷｭｱﾚｾﾝﾀｰ開設により減少
		(68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	(　0㎡)	(　0㎡)	(68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	8号館竣工等による増（H30）
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
		78室 ~~59室~~	40室	60室	4室 （補助職員　1人）	0室 （補助職員　1人）
						大学全体 8号館竣工による増（H30）
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室　数		
		スポーツ文化学部　武道教育学科		12　室		

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	522,103〔132,484〕 (518,378〔143,583〕) ~~(510,361〔143,008〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (17,669〔10,763〕) ~~(6,975〔1,373〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (10,661〔9,381〕) ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)			学部単位での特定不能のため大学全体の数 図書購入及び寄贈増のため(30) 図書購入及び寄贈増のため(29)
	計	522,103〔132,484〕 (518,378〔143,583〕) ~~(510,361〔143,008〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (17,669〔10,763〕) ~~(6,975〔1,373〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (10,661〔9,381〕) ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)			

(6) 図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	3,128㎡	711席 ~~661席~~	562,000冊	閲覧座席増設(H30)

(7) 体育館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	42,796.15㎡	野球場、サッカー場、ラグビー場、陸上競技場、温水プール	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	750千円	750千円	図書購入費	2,800千円	2,800千円	2,800千円	図書購入費には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む。）を含む
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,560千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

- 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	日本体育大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫									
体育学部									
体育学科	4	750	－	2740	学士（体育学）	1.08	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	平成28年度入学定員増（620→750）
健康学科	4	195	－	710	学士（体育学）	1.05	昭和37年度		平成28年度入学定員増（160→195）
武道学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	昭和40年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	平成29年度より学生募集停止
社会体育学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	昭和50年度		平成30年度より学生募集停止
スポーツ文化学部									
武道教育学科	4	100	－	200	学士（体育学）	1.02	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
スポーツ国際学科	4	100	－	200	学士（体育学）	1.05	平成29年度	同上	
スポーツマネジメント学部									
スポーツマネジメント学科	4	145	－	145	学士（体育学）	1.04	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
スポーツライフマネジメント学科	4	110	－	110	学士（体育学）	1.02	平成30年度	同上	
児童スポーツ教育学部									
児童スポーツ教育学科									
児童スポーツ教育コース	4	150	－	600	学士（児童スポーツ教育学）	1.04	平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
幼児教育保育コース	4	50	－	200	学士（児童スポーツ教育学）	1.01	平成25年度	同上	
保健医療学部									
整復医療学科	4	90	－	360	学士（整復医療学）	1.06	平成26年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
救急医療学科	4	80	－	320	学士（救急医療学）	1.03	平成26年度	同上	

大学の名称	日本体育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
体育科学研究科									
体育科学専攻（博士前期課程）	2	25	－	50	修士（体育科学）	1.20	昭和50年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	6	－	18	博士（体育科学）	1.83	平成9年度	同上	
コーチング学専攻（博士前期課程）	2	12	－	24	修士（体育科学）	1.83	平成30年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（体育科学）	1.33	平成30年度	同上	

教育学研究科									
実践教科教育学専攻（博士前期課程）	2	20	－	40	修士（教育学）	0.45	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
実践教科教育学専攻（博士後期課程）	3	5	－	15	修士（教育学）	2.00	平成29年度	同上	
保健医療学研究科									
保健医療学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（柔道整復学） 修士（救急災害医療学）	1.12	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜スポーツ文化学部　武道教育学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞ 体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 比較武道文化論 武道技術論 スポーツ実践指導法・剣道 武道用具論 武道文献講読 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化研究A 運動方法・武道（柔道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道国際交流論 伝統文化交流実習A 伝統文化交流実習B 武道教育論 武道科教育法 スポーツ実践指導法・柔道 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞ スポーツバイオメカニクス スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞ 教育心理学 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・武道（相撲） 武道技術論 スポーツ実践指導法・相撲 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	齋藤 雅英 ＜平成29年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	古澤 伸晃 ＜平成29年4月＞ 武道国際普及論 武道教育研究法※ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞ 体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 比較武道文化論 武道技術論 スポーツ実践指導法・剣道 武道用具論 武道文献講読 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化研究A 運動方法・武道（柔道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道国際交流論 伝統文化交流実習A 伝統文化交流実習B 武道教育論 武道科教育法 スポーツ実践指導法・柔道 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞ スポーツバイオメカニクス スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞ 教育心理学 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・武道（相撲） 武道技術論 スポーツ実践指導法・相撲 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	齋藤 雅英 ＜平成29年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	古澤 伸晃 ＜平成29年4月＞ 武道国際普及論 武道教育研究法※ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞ 体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 比較武道文化論 武道技術論 スポーツ実践指導法・剣道 武道用具論 武道文献講読 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化研究A 運動方法・武道（柔道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ スポーツ文化研究B 武道国際交流論 伝統文化交流実習A 伝統文化交流実習B 武道教育論 武道科教育法 スポーツ実践指導法・柔道 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞ スポーツバイオメカニクス スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞ 教育心理学 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・武道（相撲） 武道技術論 スポーツ実践指導法・相撲 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	齋藤 雅英 ＜平成29年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	古澤 伸晃 ＜平成29年4月＞ 武道国際普及論 武道教育研究法※ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	小柳　将吾 ＜平成29年4月＞	集団行動実技 集団行動演習 スポーツと組織 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	新里 知佳野 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（剣道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	仲間（田島）若菜 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能実技２ 伝統芸能実技６ 伝統芸能実習Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	伊東 良 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（相撲） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
兼担	教授	荒木 達雄 ＜平成29年4月＞	運動方法・体つくり運動（体操）
兼担	教授	入江　一憲 （62） ＜平成30年4月＞	スポーツ医学
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	道徳教育の研究
兼担	教授	後藤 彰 ＜平成30年4月＞	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 事前事後の指導 教職実践演習 教育実習
兼担	教授	筒井 崇麗（大助） ＜平成29年4月＞	運動方法・ソフトボール（野球を含む）
兼担	教授	笠井　里津子 ＜平成30年4月＞	舞踊創作論（作品論を含む）
兼担	教授	小川　理郎 ＜平成29年4月＞	救急処置概論
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	小柳　将吾 ＜平成29年4月＞	集団行動実技 集団行動演習 スポーツと組織 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	新里 知佳野 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（剣道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	仲間（田島）若菜 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能実技２ 伝統芸能実技６ 伝統芸能実習Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	伊東 良 ＜平成29年4月＞	~~運動方法・武道（相撲）~~ ~~専攻武道実技Ⅰ~~ 専攻武道実技Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
兼担	教授	荒木 達雄 ＜平成29年4月＞	運動方法・体つくり運動（体操）
兼担	教授	入江　一憲 （61） ＜平成30年4月＞	スポーツ医学
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	道徳教育の指導法
兼担	教授	後藤 彰 ＜平成30年4月＞	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 事前事後の指導 教職実践演習 教育実習
兼担	教授	筒井 崇麗（大助） ＜平成29年4月＞	運動方法・ソフトボール（野球を含む）
兼担	教授	笠井　里津子 ＜平成30年4月＞	舞踊創作論（作品論を含む）
兼担	教授		
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	小柳　将吾 ＜平成29年4月＞	~~運動方法・体つくり運動（体操）~~ 集団行動実技 集団行動演習 スポーツと組織 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	新里 知佳野 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（剣道） 専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ ~~武道史各論~~ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	仲間（田島）若菜 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能実技２ 伝統芸能実技６ 伝統芸能実習Ⅱ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	助教	伊東 良 ＜平成29年4月＞	~~運動方法・武道（相撲）~~ ~~専攻武道実技Ⅰ~~ ~~専攻武道実技Ⅱ~~ スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
兼担	教授	入江　一憲 （62） ＜平成30年4月＞	スポーツ医学※
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	~~道徳教育の指導法~~
兼担	教授	後藤 彰 ＜平成30年4月＞	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 事前事後の指導 教職実践演習 教育実習
兼担	教授	筒井 崇麗（大助） ＜平成29年4月＞	運動方法・ソフトボール（野球を含む）
兼担	教授	笠井　里津子 ＜平成30年4月＞	舞踊創作論（作品論を含む）
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	哲学 ドイツ語
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	文化人類学 伝統芸能史 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	特別活動の研究 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	金田 英子 ＜平成31年4月＞	スポーツと国際協力 国際保健学
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能交流論 比較舞踊学
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 海外語学研修 英会話
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	哲学 ドイツ語
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	文化人類学 伝統芸能史 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	特別活動の指導法 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	金田 英子 ＜平成31年4月＞	スポーツと国際協力 国際保健学
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能交流論 比較舞踊学
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 海外語学研修 英会話
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	哲学 ドイツ語
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	文化人類学 伝統芸能史 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	特別活動の指導法 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	金田 英子 ＜平成31年4月＞	衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む） スポーツと国際協力 国際保健学
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞	運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 伝統芸能交流論 比較舞踊学
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 海外語学研修 英会話
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	鈴川　一宏 ＜平成29年4月＞	衛生学・公衆衛生学 （運動衛生学を含む） スポーツ文化研究B
兼担	教授	小林　正利 ＜平成30年4月＞	スポーツ文化研究B
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞	伝統芸能の諸相 歴史学 稽古論
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	野外活動論 キャンプ実習
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞	スキー実習
兼担	准教授	黄　仁官 （51） ＜平成30年4月＞	トレーニング学
兼担	准教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞	スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞	経済学
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞	教育カウンセリング
兼担	准教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞	運動方法・水泳 海浜実習
兼担	准教授	山崎 博和 ＜平成31年4月＞	競技スポーツ実技
兼担	准教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞	コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞	人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞	スポーツ社会学
兼担	准教授	田辺　勝 ＜平成29年4月＞	国際武術実技 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼担	准教授	三村　覚 ＜平成29年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	鈴川　一宏 ＜平成29年4月＞	衛生学・公衆衛生学 （運動衛生学を含む） スポーツ文化研究B
兼担	教授	小林　正利 ＜平成30年4月＞	スポーツ文化研究B
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞	伝統芸能の諸相 歴史学 稽古論
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	野外活動論 キャンプ実習
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞	スキー実習
兼担	准教授	黄　仁官 （50） ＜平成30年4月＞	トレーニング学
兼担	教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞	スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞	経済学
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞	教育相談（カウンセリングを含む）
兼担	教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞	運動方法・水泳 海浜実習
兼担	准教授	山崎 博和 ＜平成31年4月＞	競技スポーツ実技
兼担	教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞	コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞	人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞	スポーツ社会学
兼担	准教授	田辺　勝 ＜平成29年4月＞	国際武術実技 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞	伝統芸能の諸相 歴史学 稽古論
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	野外活動論 キャンプ実習
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞	スキー実習
兼担	准教授	黄　仁官 （51） ＜平成30年4月＞	トレーニング学
兼担	教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞	スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞	経済学
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞	教育相談（カウンセリングを含む）
兼担	教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞	運動方法・水泳 海浜実習
兼担	准教授	山崎 博和 ＜平成31年4月＞	競技スポーツ実技
兼担	教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞	コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞	人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞	スポーツ社会学
兼担	教授	田辺　勝 ＜平成29年4月＞	国際武術実技 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	大石　健二 ＜平成30年4月＞ スポーツ文化研究B
兼担	准教授	波多腰 克晃 ＜平成30年4月＞ スポーツ哲学 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 武道教育研究法※
兼担	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞ スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む）
兼担	准教授	閏　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	木下　佳子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・球技A
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）
兼担	助教	佐野 昌行 ＜平成29年4月＞ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 スポーツ経営管理学
兼担	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化論
兼担	助教	田中　理恵 ＜平成29年4月＞ 運動方法・器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	大石　健二 ＜平成30年4月＞ スポーツ文化研究B
兼担	准教授	波多腰 克晃 ＜平成30年4月＞ スポーツ哲学 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 武道教育研究法※
兼担	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞ スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む）
兼担	准教授	閏　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	木下　佳子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・球技A
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	佐野 昌行 ＜平成29年4月＞ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 スポーツ経営管理学
兼担	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化論
兼担	教授	朝日　茂樹 ＜平成29年4月＞ 救急処置概論
兼担	准教授	木原　祐二 ＜平成29年10月＞ 野外活動論
兼担	准教授	市川　優一郎 ＜平成29年4月＞ 心理学
兼担	教授	畠田　好章 ＜平成29年4月＞ 運動方法・器械運動
兼担	教授	瀬尾　京子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	波多腰 克晃 ＜平成30年4月＞ スポーツ哲学 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） 武道教育研究法※
兼担	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞ スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む）
兼担	准教授	閏　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	木下　佳子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・球技A
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）
兼担	准教授	佐野 昌行 ＜平成29年4月＞ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 スポーツ経営管理学
兼担	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞ スポーツ文化論
兼任	講師	朝日　茂樹 ＜平成29年4月＞ 救急処置概論
兼担	准教授	木原　祐二 ＜平成29年10月＞ 野外活動論
兼担	准教授	市川　優一郎 ＜平成29年4月＞ 心理学
兼担	教授	瀬尾　京子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・器械運動
兼担	教授	スーザン・ミラー ＜平成30年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞	教育経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞	教育課程論
兼任	講師	猪越　孝治 ＜平成31年4月＞	武道技術論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞	学習指導論
兼任	講師	谷釜　了正 ＜平成30年4月＞	身体文化論 芸道論
兼任	講師	袴田　大蔵 ＜平成30年4月＞	武道史各論 武道実技（形）
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞	礼法 専攻武道実技Ⅰ 武道実技（弓道） 専攻武道実技Ⅱ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	葛西　聖司 ＜平成32年4月＞	芸能鑑賞論
兼任	講師	土屋　義晴 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	石間　信一 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論
兼任	講師	荒関　友子 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞	キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	木村　昌彦 ＜平成30年4月＞	武道史各論 武道技術論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞	教育の制度と経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞	教育課程論
兼任	講師	猪越　孝治 ＜平成31年4月＞	武道技術論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞	教育の方法と技術
兼任	講師	谷釜　了正 ＜平成30年4月＞	身体文化論 芸道論
兼任	講師	袴田　大蔵 ＜平成30年4月＞	武道史各論 武道実技（形）
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞	礼法 専攻武道実技Ⅰ 武道実技（弓道） 専攻武道実技Ⅱ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	葛西　聖司 ＜平成32年4月＞	芸能鑑賞論
兼任	講師	土屋　義晴 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	石間　信一 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論
兼任	講師	荒関　友子 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞	キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	木村　昌彦 ＜平成30年4月＞	武道史各論 武道技術論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	遠藤　直哉 ＜平成30年4月＞	スポーツ医学※
兼担	助教	市川　純 ＜平成30年4月＞	英語コミュニケーションⅡ 基礎英語Ⅰ
兼担	助教	中瀬　卓也 ＜平成30年4月＞	運動方法・器械運動
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞	教育の制度と経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞	教育課程論
兼任	講師	猪越　孝治 ＜平成31年4月＞	武道技術論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞	教育の方法と技術
兼任	講師	袴田　大蔵 ＜平成30年4月＞	身体文化論 芸道論 武道史各論 武道実技（形）
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞	礼法 専攻武道実技Ⅰ ~~武道実技（弓道）~~ 専攻武道実技Ⅱ 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	葛西　聖司 ＜平成32年4月＞	芸能鑑賞論
兼任	講師	土屋　義晴 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	石間　信一 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論
兼任	講師	荒関　友子 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ 武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞	~~キャリアデザインA~~ キャリアデザインB
兼任	講師	木村　昌彦 ＜平成30年4月＞	武道教育論 武道史各論 武道技術論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞	キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞	中国語
兼任	講師	中島　健次郎 ＜平成31年4月＞	武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	栗林　孝典 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ
兼任	講師	花柳（常盤）　基 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実習Ⅰ
兼任	講師	青島　仙光 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実技４
兼任	講師	髙橋　雅克 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞	伝統芸能論
兼任	講師	花柳　徳櫻海 （正木　保江） ＜平成29年4月＞	伝統芸能実技１ 伝統芸能実技３
兼任	講師	髙橋　景樹 ＜平成31年4月＞	武道技術論 武道実技（弓道）
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞	保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞	礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞	コリア語
兼任	講師	東島　雅昌 ＜平成30年4月＞	国際情勢理解
兼任	講師	花柳　静九郎 （伊賀　健一郎） ＜平成31年4月＞	伝統芸能実技５ 古典芸能論（能・舞踊）
兼任	講師	田島　定弘 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	西村　拓也 ＜平成30年4月＞	フランス語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞	キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞	中国語
兼任	講師	中島　健次郎 ＜平成31年4月＞	武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	栗林　孝典 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ
兼任	講師	花柳（常盤）　基 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実習Ⅰ
兼任	講師	青島　仙光 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実技４
兼任	講師	髙橋　雅克 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ 専攻武道実技Ⅱ
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞	伝統芸能論
兼任	講師	花柳　徳櫻海 （正木　保江） ＜平成29年4月＞	伝統芸能実技１ 伝統芸能実技３
兼任	講師	髙橋　景樹 ＜平成31年4月＞	武道技術論 武道実技（弓道）
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞	保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞	礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞	コリア語
兼任	講師	東島　雅昌 ＜平成30年4月＞	国際情勢理解
兼任	講師	花柳　静九郎 （伊賀　健一郎） ＜平成31年4月＞	伝統芸能実技５ 古典芸能論（能・舞踊）
兼任	講師	田島　定弘 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	西村　拓也 ＜平成30年4月＞	フランス語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞	~~キャリアデザインA~~ キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞	中国語
兼任	講師	中島　健次郎 ＜平成31年4月＞	武道技術論 専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼任	講師	栗林　孝典 ＜平成29年4月＞	専攻武道実技Ⅰ ~~専攻武道実技Ⅱ~~
兼任	講師	花柳（常盤）　基 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実習Ⅰ
兼任	講師	青島　仙光 ＜平成30年4月＞	伝統芸能実技４
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞	伝統芸能論
兼任	講師	花柳　徳櫻海 （正木　保江） ＜平成29年4月＞	伝統芸能実技１ 伝統芸能実技３
兼任	講師	髙橋　景樹 ＜平成31年4月＞	武道技術論 ~~武道実技（弓道）~~
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞	保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞	礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞	コリア語
兼任	講師	花柳　静九郎 （伊賀　健一郎） ＜平成31年4月＞	伝統芸能実技５ 古典芸能論（能・舞踊）
兼任	講師	田島　定弘 ＜平成31年4月＞	専攻武道実技Ⅲ 専攻武道実技Ⅳ
兼担	教授	西村　拓也 ＜平成30年4月＞	フランス語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） <就任（予定）年月>	担当授業科目名

（1）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・時間割の都合により、「専攻武道実技Ⅰ」の担当が伊東良助教（専任）から齋藤一雄教授（専任）に変更。
・時間割の都合により、伊東良助教（専任）の担当科目から「運動方法・武道（相撲）」を削除。
・教職課程認定における事務的指摘により、三好仁司教授（兼担）の担当科目名称を「道徳教育の研究」から「道徳教育の指導法」に変更。
・本人都合により、小川理郎教授（兼担）の担当科目から「救急処置概論」を削除。後任として、朝日茂樹教授（兼担）に担当教員変更。
・本人都合により、町田輝雄教授（兼担）の担当科目から「哲学」を削除。
・教職課程認定における事務的指摘により、白旗和也教授（兼担）の担当科目名称を「特別活動の研究」から「特別活動の指導法」に変更。
・本人都合により、馬場進一郎准教授（兼担）の担当科目から「野外活動論」を削除。後任として、木原祐二准教授（兼担）に担当教員変更。
・平成29年4月昇任により、青柳徹准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、宇部弘子准教授（兼担）の担当科目名称を「教育カウンセリング」から「教育相談（カウンセリングを含む）」に変更。
・平成29年4月昇任により、大本洋嗣准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・平成29年4月昇任により、伊藤雅充准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・三村覚准教授就任辞退により、「心理学」の担当教員を市川優一郎准教授（兼担）に変更。
・平成29年4月昇任により、佐野昌行助教（兼担）から准教授（兼担）に変更。
・田中理恵助教就任辞退により、「運動方法・器械運動」の担当教員を畠田好章教授（兼担）、瀬尾京子教授（兼担）に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、藤原三津男講師（兼任）の担当科目名称を「教育経営」から「教育の制度と経営」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、鳥山康夫講師（兼任）の担当科目名称を「学習指導論」から「教育の方法と技術」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の担当教員に中田伸恵講師（兼任）、森田美雪講師（兼任）を追加。

【平成３０年度】

・時間割の都合により、「専攻武道実技Ⅱ」の担当が山本洋祐教授（専任）から原田新一講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「武道教育論」の担当が山本洋祐教授（専任）か木村昌彦講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「スポーツ文化研究B」の担当が鈴川一宏教授（兼担）、小林正利教授（兼担）、大石健二准教授（兼担）から山本洋祐教授（専任）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（相撲）」の担当に伊東良助教（専任）を追加。
・時間割の都合により、「専攻武道実技Ⅱ」の担当が伊東良助教（専任）から齋藤一雄教授（専任）に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・体つくり運動（体操）」の担当が荒木達雄教授（兼担）から小柳将吾助教（専任）に変更。
・時間割の都合により、「武道史各論」の担当が袴田大蔵講師（兼任）から新里知佳野助教（専任）に変更。
・時間割の都合により、「衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）」の担当を鈴川一宏教授（兼担）から金田英子教授（兼担）に変更。
・平成30年4月昇任により、田辺勝准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・時間割の都合により、「運動方法・器械運動」の担当が畠田好章教授（兼担）から中瀬卓也助教（兼担）に変更。
・谷釜了正講師（兼任）就任辞退により、「身体文化論」「芸道論」の担当を袴田大蔵講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「武道実技（弓道）」の担当が岡部恵美子講師（兼任）、髙橋景樹講師（兼任）から金松貴子講師（兼任）、小林亨講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインA」の担当が島津和代講師（兼任）、島原富士江講師（兼任）から千葉吉裕講師（兼任）に変更。
・本人都合により、栗林孝典講師（兼任）の担当科目から「専攻武道実技Ⅱ」を削除。後任として、日野皓正講師（兼任）に変更。
・高橋雅克講師（兼任）就任辞退により、後任として竹見国雄講師（兼任）に「専攻武道実技Ⅰ」、渡辺譲講師（兼任）に「専攻武道実技Ⅱ」に担当教員変更。
・東島雅昌講師（兼任）就任辞退により、「国際情勢理解」の担当教員を後藤武秀講師（兼任）に変更。
・平成30年4月他学部に就任により、西村拓也講師（兼任）から教授（兼担）として就任。
・平成30年3月定年退職により、朝日茂樹教授（兼担）から講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅠ」の担当教員にスーザン・ミラー教授（兼担）を追加。
・教育指導体制充実のため、「スポーツ医学」の担当教員に遠藤直哉教授（兼担）を追加。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅡ」「基礎英語Ⅰ」の担当教員に市川純助教（兼担）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の担当教員が森田美雪講師（兼任）から遠藤大哉講師（兼任）、杉沼春美講師（兼任）に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・陸上競技」の担当教員に古川佑生講師（兼担）を追加。
・時間割の都合により、「運動方法・武道（柔道）」の担当教員に原田新一講師（兼任）を追加。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（2） 専任教員数等

（2）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）
5	2	0	5	12	5	2	0	5	12	5	2	0	5	12
(5)	(2)	(0)	(5)	(12)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3） 専任教員辞任等の理由

（3）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1						
2						

合計（D）			後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注） ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1						
2						

合計（F）			後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注） ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（3）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注） ・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1						
2						

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設　置　時 （平成２８年８月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期課程） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設　置　時 （平成２８年８月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士後期課程） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設　置　時 （平成２９年７月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学スポーツマネジメント学部） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。（スポーツマネジメント学科及びスポーツライフマネジメント学科）	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。

設置計画履行状況調査時 （平成30年2月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期課程） 教育学研究科実践教科教育学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設置計画履行状況調査時 （平成30年2月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士後期課程） 教育学研究科実践教科教育学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。

（注）・ 「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。） と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・ 該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7　その他全般的事項

＜スポーツ文化学部　武道教育学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ　委員会の設置状況

大学設置基準第25条第3項に「教育内容等の改善のための組織的な研修等」と定められ義務化されたＦＤ活動は、本学では平成18年4月1日より、副学長、学科長及び学長が必要と認めた者並びに関係部署職員により委員が組織され全学委員会として活動を展開していたが、平成30年4月1日よりインスティテューショナル・リサーチアンドエフェクティブネス室が設置され、ＦＤ活動の推進に関する事項を統括する。

FD委員会規程（平成18年3月7日教授会制定）　＜平成29年度まで適用＞

第1条　委員会規程第2条に基づき、FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第2条　委員会は、教育理念及び教育目標に基づき、教育活動、教授法及び教員の相互研鑽の支援並びに教育効果などに関して恒常的に検討を行い、教員の資質の向上を図ることを目的とする。

第3条　委員会は、次の事項について審議し、実施する。

(1)　FDに関する企画及び調査に関する事項

(2)　FDに関する報告書等の作成に関する事項

(3)　その他FDに関する活動を促進するための事項

2　委員会は、前項の事項を審議・実施するにあたり、他の本学委員会に委嘱することができるものとする。

第4条　委員会は、次の号に掲げる者をもって組織し、学長が委嘱する。

(1) 副学長

(2) 体育学部各学科 1名

(3) スポーツ文化学部各学科 1名

(4) 児童スポーツ教育学科各コース 1名

(5) 保健医療学部各学科 1名

(6) 大学改革推進室長

(7) 企画部長

(8) 企画部課程・評価課長

(9) その他学長が必要と認めた者 若干名

第5条　必要に応じ委員会に、重要事項を審議するため専門委員会を置くことができる。

第6条　委員会の庶務は、企画部課程・評価課が処理する。

第7条　この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

インスティテューショナル・リサーチ アンド エフェクティブネス室規程（平成30年3月23日学長制定）
＜平成30年度から適用＞

（趣旨）

第１条 この規程は、学校法人日本体育大学組織規程第12条に基づいて大学に置くインスティテューショナル・リサーチ アンド エフェクティブネス室（以下「IRE室」という。）について、業務、組織及び運営について定める。

（業務）

第２条 IRE室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 計画立案及び政策決定並びに意思決定に係る支援に関する事項
(2) 自己点検・評価及び認証評価に関する事項
(3) 内部質保証に関する事項
(4) 法令等の遵守に関する事項
(5) SD（Staff Development）及びFD（Faculty Development）の推進に関する事項
(6) 公表する情報に関する事項
(7) 学内外における高等教育に係る各種の情報に関する事項
(8) 各種の業務遂行及び内部質保証に関して、研究科・学部・学科・各部署への指導・統制に関する事項
(9) 学長補佐会議及び学部長会議の運営に関する事項
(10) その他、前各号に関する事項

（組織）

第３条 IRE室の構成員は、学校法人日本体育大学組織規程の定めにより置く。

（改廃）

第４条 この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附則

（施行日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年 6月 9日（金）　出席7名、委任10名、欠席4名

c　委員会の審議事項等

・授業評価アンケートの実施について
・FD委員会を運営するための会議体の設置について

② 実施状況

a　実施内容

これまで実施してきた授業評価アンケート結果の傾向分析を有効的に実施できるよう、同じ設問構成で実施した。

教育手法の共有や開発により教員の教育力向上を図ることを目的とした説明会や、学校や部活動における重大事件・事故を題材にした研修会を実施した。

教員が自身の研究内容を講演し、参加者と議論することにより研究交流の活性化や自己研鑽につなげることを目的として「マンスリー学術セミナー」を開催した。

b　実施方法

教学改革の推進（学生サポート環境の充実）の一環として導入した授業収録システム「GET Recorder」使用説明会を実施した。

学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会は全4回実施。各回題材を変え、専門家や事件・事故の当事者を招き講話いただいた。

マンスリー学術セミナーは、研究活動の推進や研究会の企画・開催等を行なう総合スポーツ科学研究センターの主催により、原則として毎月1回、同センターから依頼を受けた教員が講演を行なう。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・授業収録システム「GET Recorder」使用説明会
　開催日：平成30年2月6日（火）　参加者 10名

・学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会（教員以外の参加者含む）
　第1回 平成29年 6月30日（金）　参加者 300名
　第2回 平成29年10月13日（金）　参加者 290名
　第3回 平成29年11月 3日（金）　参加者　60名
　第4回 平成29年12月14日（木）　参加者 300名

・マンスリー学術セミナー（教員以外の参加者含む）
　第1回 平成29年 4月25日（火）　参加者 32名
　第2回 平成29年 5月19日（金）　参加者 32名
　第3回 平成29年 6月22日（木）　参加者 22名
　第4回 平成29年 7月20日（木）　参加者 21名
　第5回 平成29年10月19日（木）　参加者 24名
　第6回 平成29年11月30日（木）　参加者 27名
　第7回 平成29年12月15日（金）　参加者 20名

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>では、「授業」を切り口とした、担当教員と履修者のＩＣＴホットライン「クラスプロファイル」を有効活用しており、授業評価アンケートや採点、出席管理から授業資料の事前・事後配付、課題配信に至るまで、単位相当の授業管理を行っている。

授業評価アンケート設問に対する回答の状況や履修者から寄せられる意見などから、授業担当教員は、自らの授業方法の改善や修正、また、有効な授業方法の情報提供を行うほか、n-passの運用方法提案や機能修正の要望、さらには有効な使用方法の教授を求めるなど、授業改善と自身のスキルアップに取り組んでいる。

大学が提供する１時限９０分の授業をより効果的に行うため、先ずは、出席者の把握や、資料等の配付、課題の回収にかける時間を除去削減し、授業担当教員が学問の教授に集中できるよう、事務局は授業に係る周辺業務の効率化に積極的に参画している。各教員は、これら効率化の先に授業内容の充実を展開し、大学は、カリキュラム改革、組織の整備改善等に取り組む。

また、ICTを活用した学習支援サービスにあっては、「n-pass」に加えて、平成27年4月にオンライン教育サポートシステム「GAKUEN EduTrack」<通称n-track(エヌ・トラック)>を導入した。このシステムの学内リリースにより、個々の教員のITスキルや情報リテラシーの高低を問わない次世代の学習支援方法が具現化するため、授業時間外の学習範囲やその深度が増し、授業では対話型学習などの理想的な「反転授業」が実践できるなど、学生は主体的に学べる真の学習環境が得られる。さらに、平成29年6月に授業収録システム「GET Recorder」を導入したことにより「n-track」の更なる活用等が見込まれる。これらのICTを活用した先端的教育機能の積極的導入により、飛躍的な教育改革を推進することができる教育環境も整えられたことから、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学び（アクティブラーニング）の導入など、授業方法等を革新するために、これらの具体的手法や活用方法などについて、教員への教育や研修等に積極的に取り組む。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

前学期：平成29年 7月 6日（木）～平成29年 8月21日（月）　　回答結果公表　8月22日（火）

後学期：平成29年12月19日（火）～平成30年 2月15日（木）　　回答結果公表　2月16日（金）

b　教員や学生への公開状況，方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORTの専用メニューを使用し実施。各教科の授業担当教員と履修する個々の学生が結びついており、アンケートの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化（視覚化）されたものが、授業ごとに当該授業担当教員及び当該履修学生に即時還元される。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツ文化学部は、国際社会に対して日本の精神に根ざしたスポーツによる開発援助、国際協力、国際交流などの実践的な技術や理論を推進できるような人材を養成することを目的とし、平成29年度に開設した。

開設年度の入学試験状況は入学定員200名（武道教育学科100名、スポーツ国際学科100名）に対し、本学部志願者総数821名（倍率4.1倍　武道教育学科 1.69倍、スポーツ国際学科 6.52倍）、入学者数206名（定員倍率1.03倍　武道教育学科 1.04倍、スポーツ国際学科 1.02倍）である。

開設2年目の入学試験状況は、入学定員200名（武道教育学科100名、スポーツ国際学科100名）に対し、本学部志願者総数632名（倍率3.16倍　武道教育学科 1.43倍、スポーツ国際学科 4.89倍）、入学者数208名（定員倍率1.04倍　武道教育学科 1.0倍、スポーツ国際学科 1.08倍）である。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成33年度に公表予定。

b　公表方法

・大学ホームページ上に公開（http://www.nittai.ac.jp/）

③　認証評価を受ける計画

平成27年度（2015）に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、『日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している』との判定を受けた。よって平成34年度（2022）に受審予定である。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　　（　有　・　無　）

b　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　　（　平成30　年　6月　30日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「b　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人日本体育大学

（2）大　学　名

日本体育大学

（3）大学の位置

〒１５８－８５０８
東京都世田谷区深沢七丁目１番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ マツナミ　ケンシロウ ） 松浪　健四郎 （ 平成２３年６月）		
学　　長	（ タニガマ　リョウショウ ） 谷釜　了正 （ 平成２２年９月）	（ グシケン　コウジ） 具志堅　幸司 （平成２９年４月）	任期満了のため変更 （平成29年4月1日）（29）
学 部 長	（ ヤギサワ　マコト） 八木沢　誠 （平成２９年４月）		
学科長等	（ カネダ　エイコ） 金田　英子 （平成２９年４月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ文化学部 スポーツ国際学科 学士（体育学）	体育関係	4年	100人	－　年次 人 －	400人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	100人　－人 （－） ［－］		100人　－人 （－） ［－］		人　人 （　） ［　］		人　人 （　） ［　］		1.05倍	
志願者数	652 （－） ［－］	－ （－） ［－］	489 （－） ［3］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
受験者数	639 （－） ［－］	－ （－） ［－］	475 （－） ［3］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
合格者数	169 （－） ［－］	－ （－） ［－］	167 （－） ［3］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
B　入学者数	102 （－） ［－］	－ （－） ［－］	108 （－） ［3］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	1.02		1.08							

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	102 [1] (－)	－ [－] (－)	108 [3] (－)	0 [－] (－)	－ [1] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			102 [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	102 [1] (－)		210 [4] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	102 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	210 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			平成31年度	－ 人	－ 人	
平成32年度	人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			平成31年度	－ 人	－ 人	
			平成32年度	－ 人	－ 人	
合　計	312 人	0 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{102} = 0\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{210} = 0\ \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜スポーツ文化学部　スポーツ国際学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1			1					
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1			1					
			基礎英語Ⅰ	1前	1			1					
			基礎英語Ⅱ	1後	1			1					
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							2
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2			1				
		自由	海外語学研修	2後			2	1					
			英会話	3通			2	1					
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
			小計（20科目）		6	16	12	1	1	0	0	0	12
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2				1				
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1						1
		選択1	集団行動実技	1前		1							1
			集団行動演習	2前		1							1
			スポーツと組織	2後		2							1
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1								3
			スポーツ文化研究C	3通	2			7	2		1		
			スポーツ文化研究D	4通	2			7	3		1		
		自由2	卒業研究	4通			2	7	3		1		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1	1	1				
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								2
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1						1
			小計（20科目）	－	13	8	8	7	3	0	1	0	13
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2				1				
			スポーツ史	1後	2				1				
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2							1
			スポーツ医学	2前		2							1
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
			小計（10科目）	－	8	12	0	0	2	0	0	0	8
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2							1
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
			小計（5科目）	－	0	10	0	0	0	0	0	0	4

【平成３０年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1			1					1
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1			0					1
			基礎英語Ⅰ	1前	1			1					1
			基礎英語Ⅱ	1後	1			1					1
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							1
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2			1				
		自由	海外語学研修	2後			2	1					
			英会話	3通			2	1					
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
			小計（20科目）		6	16	12	1	1	0	0	0	14
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2				1				
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1						1
		選択1	集団行動実技	1前		1							1
			集団行動演習（未開講）	2前		1							1
			スポーツと組織	2後		2							1
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1			1					0
			スポーツ文化研究C	3通	2			7	3		1		
			スポーツ文化研究D	4通	2			7	3		1		
		自由2	卒業研究	4通			2	7	3		1		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1	1	1				
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								1
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1						1
			小計（20科目）	－	13	8	8	7	3	0	1	0	11
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2				1				
			スポーツ史	1後	2				1				
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2							1
			スポーツ医学	2前		2							2
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
			小計（10科目）	－	8	12	0	0	2	0	0	0	9
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2		1					0
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
			小計（5科目）	－	0	10	0	1	0	0	0	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1			1					
			運動方法・器械運動	1後	1								1
			運動方法・陸上競技	1前	1								1
			運動方法・水泳	1前	1								1
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1			1					
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1			1					1
			運動方法・球技A	3前	1								1
			運動方法・球技B	3後	1								1
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1							1
			運動方法・武道（剣道）	1前		1							2
			運動方法・武道（相撲）	1前		1							1
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1							1
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	0	0	10
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2						1		
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2				1				
			武道論	2後	2								1
			礼法	1前	1								2
		小計(5科目)		－	9	0	0	0	1	0	1	0	4
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニク	3前		2							1
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学（食品学を含む）	2前		2							1
			学校保健（小児保健・精神保健を含む）	2後		2							1
			学校安全（救急処置を含む）	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2		1					
			国際保健学	3後		2		1					
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2			1				
			比較舞踊学	2前		2		1					
		小計（16科目）			0	32	0	2	1	0	0	0	11
学科専門科目	基幹科目（理論）	必修	スポーツ国際概論	2後	2								1
			スポーツフィールドワーク論	2前	2				1				
			アジアのスポーツ文化論	3前	2						1		
			欧米のスポーツ文化論	3後	2				1				
			ニュースポーツ論	1前	2						1		
		小計（5科目）		－	10	0	0	0	1	0	1	0	1
	基幹科目（実践）	必修	スポーツフィールドワーク実習	2後	1				1				
			ニュースポーツ実技	1後	1						1		
		選択	スポーツ国際実習	3後		1		1					
			スポーツ国際支援実習	3後		1		1					
		小計（4科目）		－	2	2	0	2	1	0	1	0	0
	展開科目（理論）	選択	スポーツとコミュニケーションA	2後		1		1					
			スポーツとコミュニケーションB	2後		1			1				
			スポーツマネジメント	3前		2							1
			世界のスポーツ情勢	3後		2		1					
			スポーツメガイベント論	2前		2							1
			スポーツ政策論	2後		2							1
			スポーツ情報リテラシー	3後		2							1
			比較スポーツカリキュラム論	2前		2		1					
			スポーツ運動のメカニズム論	3後		2							1
			健康スポーツ開発論	3後		2		1					
		小計（10科目）		－	0	18	0	3	1	0	0	0	5
	展開科目（実践）	選択	エスニックスポーツ実技	1後		1							1
			身体表現実技	2前		1							2
			海外スポーツ指導実技	3後		1		1					
		小計（3科目）		－	0	3	0	1	0	0	0	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1			1					
			運動方法・器械運動	1後	1								2
			運動方法・陸上競技	1前	1								2
			運動方法・水泳	1前	1								4
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1			1					
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1			1					1
			運動方法・球技A	3前	1								1
			運動方法・球技B	3後	1								1
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1							2
			運動方法・武道（剣道）	1前		1							2
			運動方法・武道（相撲）	1前		1							2
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1							1
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	0	0	17
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2						1		
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2				1				
			武道論	2後	2								1
			礼法	1前	1								2
		小計(5科目)		－	9	0	0	0	1	0	1	0	4
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニク	3前		2							1
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学（食品学を含む）	2前		2							1
			学校保健（小児保健・精神保健を含む）	2後		2							1
			学校安全（救急処置を含む）	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2		1					
			国際保健学	3後		2		1					
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2			1				
			比較舞踊学	2前		2		1					
		小計（16科目）			0	32	0	2	1	0	0	0	11
学科専門科目	基幹科目（理論）	必修	スポーツ国際概論	2後	2								1
			スポーツフィールドワーク論	2前	2				1				
			アジアのスポーツ文化論	3前	2						1		
			欧米のスポーツ文化論	3後	2				1				
			ニュースポーツ論	1前	2						1		
		小計（5科目）		－	10	0	0	0	1	0	1	0	1
	基幹科目（実践）	必修	スポーツフィールドワーク実習	2後	1				1				
			ニュースポーツ実技	1後	1						1		
		選択	スポーツ国際実習	3後		1		1					
			スポーツ国際支援実習	3後		1		1					
		小計（4科目）		－	2	2	0	2	1	0	1	0	0
	展開科目（理論）	選択	スポーツとコミュニケーションA	2後		1		1					
			スポーツとコミュニケーションB	2後		1			1				
			スポーツマネジメント	3前		2							1
			世界のスポーツ情勢	3後		2		1					
			スポーツメガイベント論	2前		2							1
			スポーツ政策論	2後		2							1
			スポーツ情報リテラシー	3後		2							1
			比較スポーツカリキュラム論	2前		2		1					
			スポーツ運動のメカニズム論	3後		2							1
			健康スポーツ開発論	3後		2		1					
		小計（10科目）		－	0	18	0	3	1	0	0	0	5
	展開科目（実践）	選択	エスニックスポーツ実技	1後		1							1
			身体表現実技	2前		1							2
			海外スポーツ指導実技	3後		1		1					
		小計（3科目）		－	0	3	0	1	0	0	0	0	3

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2							1
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			学習指導論	3前		2							1
			道徳教育の研究	2前		2							1
			特別活動の研究	2後		2							1
			生徒指導論（進路指導を含む）	3前		2							1
			教育カウンセリング	3後		2							1
			教育経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1	1					
			教育実習	4前			4	1					
			教職実践演習	4後			2	1					
		小計(17科目)		－	0	26	7	1	0	0	0	0	11
合計(129科目)				－	56	133	27	7	3	0	1	0	65

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、　＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目10単位、【基幹科目（実践）】必修科目2単位、選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から14単位以上、【展開科目（実践）】選択から2単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位(年間)）	1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2							1
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			教育の方法と技術	3前		2							1
			道徳教育の指導法	2前		2							1
			特別活動の指導法	2後		2							1
			生徒指導論（進路指導を含む）	3前		2							1
			教育相談（カウンセリングを含む）	3後		2							1
			教育の制度と経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1	1					
			教育実習	4前			4	1					
			教職実践演習	4後			2	1					
		小計(17科目)		－	0	26	7	1	0	0	0	0	11
合計(1129科目)				－	56	133	27	7	3	0	1	0	74

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、　＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目10単位、【基幹科目（実践）】必修科目2単位、選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から14単位以上、【展開科目（実践）】選択から2単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位(年間)）	1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

【平成２９年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1								1
			国語表現Ⅱ	2前	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1			1					
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1			1					
			基礎英語Ⅰ	1前	1			1					
			基礎英語Ⅱ	1後	1			1					
		選択	法学（日本国憲法）	1前		2							1
			情報処理（情報機器の操作を含む）	1前		2							1
			芸術	1前		2							1
			哲学	1前		2							1
			心理学	1後		2							1
			社会学	2前		2							1
			経済学	2後		2							1
			歴史学	2前		2			1				
		自由	海外語学研修	2後			2	1					
			英会話	3通			2	1					
			ドイツ語	3通			2						1
			フランス語	3通			2						1
			中国語	3通			2						1
			コリア語	3通			2						1
		小計（20科目）			6	16	12	1	1	0	0	0	12
	総合科目	必修1	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2				1				
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1						1
		選択1	集団行動実技	1前		1							1
			集団行動演習	2前		1							1
			スポーツと組織	2後		2							1
		選択2	海浜実習	2前		1							1
			キャンプ実習	2前		1							1
		選択3	スキー実習	3後		1							1
			スケート実習	3後		1							1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2			1					
			スポーツ文化研究B	2後	1								3
			スポーツ文化研究C	3通	2			7	3		1		
			スポーツ文化研究D	4通	2			7	3		1		
		自由2	卒業研究	4通			2	7	3		1		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2								1
		自由3	地域ボランティア実習（事前・事後指導含む）	2前			1	1	1				
			地域スポーツ演習	3前			1						2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2								2
		自由4	キャリアデザインB	3前			2						2
			インターンシップ実習	2後			1						1
		小計（20科目）		－	13	8	8	7	3	0	1	0	13
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2								1
			スポーツ哲学	1後	2				1				
			スポーツ史	1後	2				1				
			芸道論	2前	2								1
		選択	異文化交流論	2前		2							1
			スポーツボランティア論	2前		2							1
			スポーツの安全指導（リスクマネジメント）	1後		2							1
			スポーツ医学	2前		2							1
			野外活動論	1後		2							1
			救急処置概論	1前		2							1
		小計（10科目）		－	8	12	0	0	2	0	0	0	8
	展開科目	選択	身体文化論	2後		2							1
			衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	1後		2							1
			機能解剖学	1後		2							1
			発育発達論	1後		2							1
			スポーツ生理学	2後		2							1
		小計（5科目）		－	0	10	0	0	0	0	0	0	4
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体つくり運動（体操）	1後	1			1					
			運動方法・器械運動	1後	1								2
			運動方法・陸上競技	1前	1								1
			運動方法・水泳	1前	1								4
			運動方法・ソフトボール（野球を含む）	1前	1			1					
			運動方法・ダンス（フォークダンスを含む）	1後	1			1					1
			運動方法・球技A	3前	1								1
			運動方法・球技B	3後	1								1
		選択1	運動方法・武道（柔道）	1前		1							1
			運動方法・武道（剣道）	1前		1							2
			運動方法・武道（相撲）	1前		1							1
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1							1
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1							1
		小計（14科目）		－	8	6	0	3	0	0	0	0	14

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2						1		
			文化人類学	1前	2								1
			スポーツ人類学	1後	2				1				
			武道論	2後	2								1
			礼法	1前	1								2
		小計(5科目)		－	9	0	0	0	1	0	1	0	4
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2							1
			コーチング学	3後		2							1
			スポーツ心理学	3前		2							1
			スポーツバイオメカニク	3前		2							1
		選択2	人権教育	2後		2							1
			スポーツ栄養学(食品学を含む)	2前		2							1
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2							1
			学校安全(救急処置を含む)	3前		2							1
			スポーツ経営管理学	3後		2							1
		選択3	国際情勢理解	2後		2							1
			スポーツと国際協力	3前		2		1					
			国際保健学	3後		2		1					
		選択4	伝統芸能論	3後		2							1
			伝統芸能史	2後		2							1
			伝統芸能の諸相	1後		2			1				
			比較舞踊学	2前		2		1					
		小計(16科目)			0	32	0	2	1	0	0	0	11
学科専門科目	基幹科目(理論)	必修	スポーツ国際概論	2後	2								1
			スポーツフィールドワーク論	2前	2				1				
			アジアのスポーツ文化論	3前	2						1		
			欧米のスポーツ文化論	3後	2				1				
			ニュースポーツ論	1前	2						1		
		小計(5科目)		－	10	0	0	0	1	0	1	0	1
	基幹科目(実践)	必修	スポーツフィールドワーク実習	2後	1				1				
			ニュースポーツ実技	1後	1						1		
		選択	スポーツ国際実習	3後		1		1					
			スポーツ国際支援実習	3後		1		1					
		小計(4科目)		－	2	2	0	2	1	0	1	0	0
	展開科目(理論)	選択	スポーツとコミュニケーションA	2後		1		1					
			スポーツとコミュニケーションB	2後		1			1				
			スポーツマネジメント	3前		2							1
			世界のスポーツ情勢	3後		2		1					
			スポーツメガイベント論	2前		2							1
			スポーツ政策論	2後		2							1
			スポーツ情報リテラシー	3後		2							1
			比較スポーツカリキュラム論	2前		2		1					
			スポーツ運動のメカニズム論	3後		2							1
			健康スポーツ開発論	3後		2		1					
		小計(10科目)		－	0	18	0	3	1	0	0	0	5
	展開科目(実践)	選択	エスニックスポーツ実技	1後		1							1
			身体表現実技	2前		1							2
			海外スポーツ指導実技	3後		1		1					
		小計(3科目)		－	0	3	0	1	0	0	0	0	3
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1前		2							1
			教育原理	1後		2							1
			教育心理学	2後		2							1
			体育科教育実践法	3前		1							1
			保健科教育実践法	3後		1							1
			体育科教育法	2前		2							1
			保健科教育法	2後		2							1
			教育課程論	3後		2							1
			教育の方法と技術	3前		2							1
			道徳教育の指導法	2前		2							1
			特別活動の指導法	2後		2							1
			生徒指導論(進路指導を含む)	3前		2							1
			教育相談(カウンセリングを含む)	3後		2							1
			教育の制度と経営	3後		2							1
		自由	事前事後の指導	4前			1	1					
			教育実習	4前			4	1					
			教職実践演習	4後			2	1					
		小計(17科目)		－	0	26	7	1	0	0	0	0	11
合計(129科目)				－	56	133	27	7	3	0	1	0	70

学位又は称号	学士（体育学）	学位又は学科の分野	体育関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
＜学部共通科目＞の【教養科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、＜学部専門科目（理論）＞【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、＜学部専門科目（体育実技）＞【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、 ＜学科基礎科目＞の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、＜学科専門科目＞の【基幹科目（理論）】から必修科目10単位、【基幹科目（実践）】必修科目2単位、選択から1単位以上、【展開科目（理論）】選択から14単位以上、【展開科目（実践）】選択から2単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位(年間)）	1学期の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・ 不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・担当教員1名就任辞退により、「哲学」の兼担・兼任教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・誤記により、「スポーツ文化研究B」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
・担当教員1名就任辞退により、2名で担当することとなったため「運動方法・器械運動」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼4」に変更。
・学部専門科目（体育実技）の専任教員等の配置の変更により、兼担・兼任教員数の小計を「兼10」から「兼14」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「学習指導論」から「教育の方法と技術」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「道徳教育の研究」から「道徳教育の指導法」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「特別活動の研究」から「特別活動の指導法」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「教育カウンセリング」から「教育相談（カウンセリングを含む）」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、「教育経営」から「教育の制度と経営」に変更。
・上記理由により、兼担・兼任教員数を「兼65」から「兼70」に変更。

【平成３０年度】

・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅠ」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「基礎英語Ⅰ」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・時間割の都合により、「基礎英語Ⅱ」の兼担・兼任教員数を「兼0」から「兼1」に変更。
・上記理由により、学部共通科目・教養科目の兼担・兼任教員数を「兼12」から「兼14」に変更。
・時間割の都合により、「スポーツ文化研究B」の兼担・兼任教員数を「兼3」から「兼0」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインA」の兼担・兼任教員数を「兼2」から「兼1」に変更。
・上記理由により、学部共通科目・教養科目の兼担・兼任教員数を「兼13」から「兼11」に変更。
・教育指導体制充実のため、「スポーツ医学」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・上記理由により、学部専門科目（理論）・基幹科目の兼担・兼任教員数を「兼8」から「兼9」に変更。
・時間割の都合により、「衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む）」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼0」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
・上記理由により、学部専門科目（理論）・展開科目の兼担・兼任教員数を「兼4」から「兼3」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・陸上競技」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・武道（柔道）」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・武道（相撲）」の兼担・兼任教員数を「兼1」から「兼2」に変更。
・学部専門科目（体育実技）の兼担・兼任教員数の変更により、兼担・兼任教員数の小計を「兼14」から「兼17」に変更。
・上記理由により、兼担・兼任教員数を「兼70」から「兼74」に変更。

（注）・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
37 科目	77 科目	15 科目	129 科目	37 科目 [0]	77 科目 [0]	15 科目 [0]	129 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{129} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	0㎡	0㎡	126,410.53㎡ ~~128,229.52㎡~~	
	運動場用地	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	0㎡	0㎡	84,055.66㎡ ~~82,236.67㎡~~ ~~81,228.24㎡~~	ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰｺｰﾄ取得による増加（29）
	小　計	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	0㎡	0㎡	210,466.19㎡ ~~209,457.76㎡~~	ゴルフ教場による増減（H30）
	その他	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	0㎡	0㎡	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~	寄宿舎施設の収益事業による財産以降のための減少（29）
	合　計	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	0㎡	0㎡	267,333.32㎡ ~~270,247.89㎡~~	
(2) 校舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
		68,314.75㎡ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~	0㎡	0㎡	68,314.75㎡ ~~62,587.26㎡~~ ~~62,764.09㎡~~	横浜・鶴志台ｷｬﾝﾊﾟｽに保健医療学部ｷｭｱﾚｾﾝﾀｰ開設により減少
		(68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	(　0㎡)	(　0㎡)	(68,314.75㎡) ~~(62,587.26㎡)~~ ~~(62,764.09㎡)~~	8号館竣工等による増（H30）

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	78室 ~~59室~~	40室	60室	4室 （補助職員　1人）	0室 （補助職員　1人）	大学全体 8号館竣工による増（H30）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	
	スポーツ文化学部　スポーツ国際学科	11	室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	522,103〔132,484〕 (518,378〔143,583〕) ~~(510,361〔143,008〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (17,669〔10,763〕) ~~(6,975〔1,373〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (10,661〔9,381〕) ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)			学部単位での特定不能のため大学全体の数 図書購入及び寄贈増のため（30） 図書購入及び寄贈増のため（29）
	計	522,103〔132,484〕 (518,378〔143,583〕) ~~(510,361〔143,008〕)~~ ~~(494,103〔127,284〕)~~	6,956〔1,369〕 (17,669〔10,763〕) ~~(6,975〔1,373〕)~~ ~~(6,956〔1,369〕)~~	9,906〔8,230〕 (10,661〔9,381〕) ~~(9,906〔8,230〕)~~	54,100 (54,100)			

(6) 図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	3,128㎡	711席 ~~661席~~	562,000冊	閲覧座席増設（H30）

(7) 体育館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	42,796.15㎡	野球場、サッカー場、ラグビー場、陸上競技場、温水プール	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り 区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員１人当り研究費等	750千円	750千円	図書購入費	2,800千円	2,800千円	2,800千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	図書購入費には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む。）を含む

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,560千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

- 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	日本体育大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫									
体育学部									
体育学科	4	750	－	2740	学士（体育学）	1.08	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	平成28年度入学定員増（620→750）
健康学科	4	195	－	710	学士（体育学）	1.05	昭和37年度		平成28年度入学定員増（160→195）
武道学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	昭和40年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	平成29年度より学生募集停止
社会体育学科	4	－	－	－	学士（体育学）	－	昭和50年度		平成30年度より学生募集停止
スポーツ文化学部									
武道教育学科	4	100	－	200	学士（体育学）	1.02	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
スポーツ国際学科	4	100	－	200	学士（体育学）	1.05	平成29年度	同上	
スポーツマネジメント学部									
スポーツマネジメント学科	4	145	－	145	学士（体育学）	1.04	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
スポーツライフマネジメント学科	4	110	－	110	学士（体育学）	1.02	平成30年度	同上	
児童スポーツ教育学部									
児童スポーツ教育学科									
児童スポーツ教育コース	4	150	－	600	学士（児童スポーツ教育学）	1.04	平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
幼児教育保育コース	4	50	－	200	学士（児童スポーツ教育学）	1.01	平成25年度	同上	
保健医療学部									
整復医療学科	4	90	－	360	学士（整復医療学）	1.06	平成26年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
救急医療学科	4	80	－	320	学士（救急医療学）	1.03	平成26年度	同上	

大学の名称	日本体育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
体育科学研究科									
体育科学専攻（博士前期課程）	2	25	－	50	修士（体育科学）	1.20	昭和50年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	6	－	18	博士（体育科学）	1.83	平成9年度	同上	
コーチング学専攻（博士前期課程）	2	12	－	24	修士（体育科学）	1.83	平成30年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（体育科学）	1.33	平成30年度	同上	

教育学研究科									
実践教科教育学専攻（博士前期課程）	2	20	－	40	修士（教育学）	0.45	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
実践教科教育学専攻（博士後期課程）	3	5	－	15	修士（教育学）	2.00	平成29年度	同上	
保健医療学研究科									
保健医療学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（柔道整復学） 修士（救急災害医療学）	1.12	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜スポーツ文化学部　スポーツ国際学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	金田 英子 ＜平成29年4月＞ スポーツと国際協力 国際保健学 スポーツ国際実習 健康スポーツ開発論 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	荒木 達雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・体つくり運動（体操） スポーツ文化研究Ａ スポーツとコミュニケーションＡ スポーツ国際支援実習 世界のスポーツ情勢 海外スポーツ指導実技 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	岡出 美則 ＜平成29年4月＞ 比較スポーツカリキュラム論 スポーツ文化研究Ｃスポーツ文化研究Ｄ卒業研究
専	教授	後藤 彰 ＜平成29年4月＞ 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究Ｃ 教職実践演習 スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究 事前事後の指導 教育実習
専	教授	筒井 崇護（大助） ＜平成29年4月＞ 運動方法・ソフトボール（野球を含む） スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 比較舞踊学 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞ 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英会話 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞ 伝統芸能の諸相 歴史学 スポーツ文化研究Ｃスポーツ文化研究Ｄ卒業研究

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	金田 英子 ＜平成29年4月＞ スポーツと国際協力 国際保健学 スポーツ国際実習 健康スポーツ開発論 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	荒木 達雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・体つくり運動（体操） スポーツ文化研究Ａ スポーツとコミュニケーションＡ スポーツ国際支援実習 世界のスポーツ情勢 海外スポーツ指導実技 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	岡出 美則 ＜平成29年4月＞ 比較スポーツカリキュラム論 スポーツ文化研究Ｃスポーツ文化研究Ｄ卒業研究
専	教授	後藤 彰 ＜平成29年4月＞ 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究Ｃ 教職実践演習 スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究 事前事後の指導 教育実習
専	教授	筒井 崇護（大助） ＜平成29年4月＞ 運動方法・ソフトボール（野球を含む） スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 比較舞踊学 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞ 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英会話 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞ 伝統芸能の諸相 歴史学 スポーツ文化研究Ｃスポーツ文化研究Ｄ卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	金田 英子 ＜平成29年4月＞ 衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む） スポーツ文化研究B スポーツと国際協力 国際保健学 スポーツ国際実習 健康スポーツ開発論 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	荒木 達雄 ＜平成29年4月＞ 運動方法・体つくり運動（体操） スポーツ文化研究Ａ スポーツとコミュニケーションＡ スポーツ国際支援実習 世界のスポーツ情勢 海外スポーツ指導実技 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	岡出 美則 ＜平成29年4月＞ 比較スポーツカリキュラム論 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	後藤 彰 ＜平成29年4月＞ 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究Ｃ 教職実践演習 スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究 事前事後の指導 教育実習
専	教授	筒井 崇護（大助） ＜平成29年4月＞ 運動方法・ソフトボール（野球を含む） スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	津田 博子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 比較舞踊学 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	教授	山口　和之 ＜平成29年4月＞ 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 海外語学研修 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英会話 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究
専	准教授	舘鼻 誠 ＜平成29年4月＞ 伝統芸能の諸相 歴史学 スポーツ文化研究Ｃ スポーツ文化研究Ｄ 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	波多腰 克晃 ＜平成29年4月＞	スポーツ哲学 スポーツとコミュニケーションB 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞	スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む） スポーツフィールドワーク実習 スポーツフィールドワーク論 欧米のスポーツ文化論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞	スポーツ文化論 アジアのスポーツ文化論 ニュースポーツ実技 ニュースポーツ論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
兼担	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞	体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 スポーツ実践指導法・剣道
兼担	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（柔道） スポーツ実践指導法・柔道
兼担	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞	教育心理学
兼担	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞	スポーツ運動のメカニズム論 スポーツバイオメカニクス
兼担	教授	入江　一憲 ＜平成30年4月＞	スポーツ医学
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	道徳教育の研究
兼担	教授	小川　理郎 ＜平成29年4月＞	救急処置概論
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	哲学 ドイツ語
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	波多腰 克晃 ＜平成29年4月＞	スポーツ哲学 スポーツとコミュニケーションB 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞	スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む） スポーツフィールドワーク実習 スポーツフィールドワーク論 欧米のスポーツ文化論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞	スポーツ文化論 アジアのスポーツ文化論 ニュースポーツ実技 ニュースポーツ論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
兼担	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞	体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 スポーツ実践指導法・剣道
兼担	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（柔道） スポーツ実践指導法・柔道
兼担	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞	教育心理学
兼担	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞	スポーツ運動のメカニズム論 スポーツバイオメカニクス
兼担	教授	入江　一憲 ＜平成30年4月＞	スポーツ医学
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	**道徳教育の指導法**
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	**哲学** ドイツ語
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	波多腰 克晃 ＜平成29年4月＞	スポーツ哲学 スポーツとコミュニケーションB 地域ボランティア実習（事前・事後指導含む） スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	准教授	松浪 登久馬 ＜平成29年4月＞	スポーツ史 スポーツ人類学 日体大の歴史（日体伝統実習を含む） スポーツフィールドワーク実習 スポーツフィールドワーク論 欧米のスポーツ文化論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
専	助教	福井　元 ＜平成29年4月＞	スポーツ文化論 アジアのスポーツ文化論 ニュースポーツ実技 ニュースポーツ論 スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D 卒業研究
兼担	教授	八木沢 誠 ＜平成29年4月＞	体育研究発表実演会 運動方法・武道（剣道） インターンシップ実習 武道論 スポーツ実践指導法・剣道
兼担	教授	山本　洋祐 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（柔道） スポーツ実践指導法・柔道
兼担	教授	藤田 主一 ＜平成29年4月＞	教育心理学
兼担	教授	阿江 通良 ＜平成29年4月＞	スポーツ運動のメカニズム論 スポーツバイオメカニクス
兼担	教授	入江　一憲 ＜平成30年4月＞	スポーツ医学※
兼担	教授	三好　仁司 ＜平成30年4月＞	**道徳教育の指導法**
兼担	教授	刑部　久 ＜平成29年4月＞	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ
兼担	教授	町田　輝雄 ＜平成29年4月＞	**哲学** ドイツ語
兼担	教授	世川　望 ＜平成29年4月＞	芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	エスニックスポーツ実技 文化人類学 伝統芸能史 スポーツ国際概論 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	特別活動の研究 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（相撲） スポーツ実践指導法・相撲
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法
兼担	教授	鈴川　一宏 ＜平成29年4月＞	衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む） スポーツ文化研究B
兼担	教授	小林　正利 ＜平成30年4月＞	スポーツ文化研究B
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	野外活動論 キャンプ実習
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	エスニックスポーツ実技 文化人類学 伝統芸能史 スポーツ国際概論 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	**特別活動の指導法** 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（相撲） スポーツ実践指導法・相撲
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法
兼担	教授	鈴川　一宏 ＜平成29年4月＞	衛生学・公衆衛生学（運動衛生学を含む） スポーツ文化研究B
兼担	教授	小林　正利 ＜平成30年4月＞	スポーツ文化研究B
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	**野外活動論** キャンプ実習
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	石井　隆憲 ＜平成29年4月＞	エスニックスポーツ実技 文化人類学 伝統芸能史 スポーツ国際概論 社会学 異文化交流論
兼担	教授	林　忠男 ＜平成29年4月＞	情報処理（情報機器の操作を含む）
兼担	教授	水野　増彦 ＜平成29年4月＞	運動方法・陸上競技
兼担	教授	白旗　和也 ＜平成30年4月＞	**特別活動の指導法** 地域スポーツ演習
兼担	教授	横山　順一 ＜平成30年4月＞	スポーツボランティア論
兼担	教授	関根　正美 ＜平成29年4月＞	哲学
兼担	教授	清水　雅彦 ＜平成29年4月＞	法学（日本国憲法）
兼担	教授	齋藤 一雄 ＜平成29年4月＞	運動方法・武道（相撲） スポーツ実践指導法・相撲
兼担	教授	野井　真吾 ＜平成30年4月＞	学校保健（小児保健・精神保健を含む） 学校安全（救急処置を含む）
兼担	教授	津山　薫 ＜平成29年4月＞	機能解剖学 発育発達論
兼担	教授	近藤　智靖 ＜平成30年4月＞	体育科教育法 体育科教育実践法
兼担	教授	須永　美歌子 ＜平成30年4月＞	スポーツ生理学
兼担	准教授	馬場 進一郎 ＜平成29年4月＞	**野外活動論** キャンプ実習
兼担	教授	古川　暁也 ＜平成29年4月＞	運動方法・球技B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	日比野　幹生 ＜平成30年4月＞ スポーツ政策論
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞ スキー実習
兼担	准教授	齋藤 雅英 ＜平成31年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む）
兼担	准教授	黄　仁官 ＜平成30年4月＞ トレーニング学
兼担	准教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞ スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞ 経済学 スポーツ情報リテラシー
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞ 教育カウンセリング
兼担	准教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳 海浜実習
兼担	准教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞ コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞ 人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞ スポーツ社会学
兼担	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント）
兼担	准教授	三村　覚 ＜平成29年4月＞ 心理学
兼担	准教授	大石　健二 ＜平成30年4月＞ スポーツ文化研究B
兼担	准教授	関　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 （37） ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	日比野　幹生 ＜平成30年4月＞ スポーツ政策論
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞ スキー実習
兼担	准教授	齋藤 雅英 ＜平成31年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む）
兼担	准教授	黄　仁官 ＜平成30年4月＞ トレーニング学
兼担	教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞ スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞ 経済学 スポーツ情報リテラシー
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞ 教育相談（カウンセリングを含む）
兼担	教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳 海浜実習
兼担	教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞ コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞ 人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞ スポーツ社会学
兼担	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント）
兼担	准教授	大石　健二 ＜平成30年4月＞ スポーツ文化研究B
兼担	准教授	関　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 （35） ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	准教授	日比野　幹生 ＜平成30年4月＞ スポーツ政策論
兼担	准教授	竹腰　誠 ＜平成31年4月＞ スキー実習
兼担	准教授	齋藤 雅英 ＜平成31年4月＞ 生徒指導論（進路指導を含む）
兼担	准教授	黄　仁官 ＜平成30年4月＞ トレーニング学
兼担	教授	青柳　徹 ＜平成31年4月＞ スケート実習
兼担	准教授	石上 秀昭 ＜平成30年4月＞ 経済学 スポーツ情報リテラシー
兼担	准教授	宇部（金子）　弘子 ＜平成31年4月＞ 教育相談（カウンセリングを含む）
兼担	教授	大本　洋嗣 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳 海浜実習
兼担	教授	伊藤　雅充 ＜平成31年4月＞ コーチング学
兼担	准教授	半田　勝久 ＜平成30年4月＞ 人権教育
兼担	准教授	亀山　有希 ＜平成31年4月＞ スポーツ社会学
兼担	准教授	南部（遠藤）さおり ＜平成29年4月＞ スポーツの安全指導（リスクマネジメント）
兼担	准教授	関　芽 ＜平成29年4月＞ 教育原理 教師論
兼担	准教授	髙井　秀明 （36） ＜平成31年4月＞ スポーツ心理学
兼担	助教	安達　瑞保 ＜平成30年4月＞ スポーツ栄養学（食品学を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	助教	木下　佳子 ＜平成29年4月＞ 運動方法・球技A
兼担	助教	佐野 昌行 ＜平成29年4月＞ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 スポーツマネジメント スポーツ経営管理学
兼担	助教	村田　由香里 ＜平成30年4月＞ 身体表現実技
兼担	助教	小柳　将吾 ＜平成29年4月＞ 集団行動実技 集団行動演習 スポーツと組織
兼担	助教	新里 知佳野 ＜平成29年4月＞ 運動方法・武道（剣道）
兼担	助教	仲間（田島）若菜 ＜平成29年4月＞ 運動方法・ダンス（フォークダンスを含む） 身体表現実技
兼担	助教	田中　理恵 ＜平成29年4月＞ 運動方法・器械運動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞ 教育経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞ 教育課程論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞ 学習指導論
兼任	講師	谷釜　了正 ＜平成30年4月＞ 身体文化論 芸道論
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞ 中国語
兼任	講師	大沼　義彦 ＜平成30年4月＞ スポーツメガイベント論
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞ 伝統芸能論
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞ 保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞ コリア語
兼任	講師	東島　雅昌 ＜平成30年4月＞ 国際情勢理解
兼任	講師	西村　拓也 ＜平成30年4月＞ フランス語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞ 教育の制度と経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞ 教育課程論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞ 教育の方法と技術
兼任	講師	谷釜　了正 ＜平成30年4月＞ 身体文化論 芸道論
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞ 中国語
兼任	講師	大沼　義彦 ＜平成30年4月＞ スポーツメガイベント論
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞ 伝統芸能論
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞ 保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞ コリア語
兼任	講師	東島　雅昌 ＜平成30年4月＞ 国際情勢理解
兼任	講師	西村　拓也 ＜平成30年4月＞ フランス語
兼任	講師	清水　俊匡 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳
兼任	講師	中嶋　崇光 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳
兼任	講師	森田　英雪 ＜平成29年4月＞ 運動方法・水泳

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	藤原　三津男 ＜平成31年4月＞ 教育の制度と経営
兼任	講師	松本　利男 ＜平成31年4月＞ 教育課程論
兼任	講師	鳥山　康夫 ＜平成31年4月＞ 教育の方法と技術
兼任	講師	岡部　恵美子 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	島津　和代 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	島原　富士江 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	牛　紫濤 ＜平成31年4月＞ 中国語
兼任	講師	大沼　義彦 ＜平成30年4月＞ スポーツメガイベント論
兼任	講師	能村　晶人 ＜平成31年4月＞ 伝統芸能論
兼任	講師	永井　大樹 ＜平成30年4月＞ 保健科教育法 保健科教育実践法
兼任	講師	藤原　豊樹 ＜平成29年4月＞ 礼法
兼任	講師	金　泰植 ＜平成31年4月＞ コリア語
兼担	教授	西村　拓也 ＜平成30年4月＞ フランス語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	金重　光彦 ＜平成30年4月＞ キャリアデザインA
兼任	講師	椅田　大蔵 ＜平成30年4月＞ 身体文化論 芸道論
兼任	講師	古川　佑生 ＜平成30年4月＞ 運動方法・陸上競技
兼任	講師	遠藤　大哉 ＜平成30年4月＞ 運動方法・水泳
兼任	講師	杉沼　春美 ＜平成30年4月＞ 運動方法・水泳
兼任	講師	中田　伸意 ＜平成30年4月＞ 運動方法・水泳
兼任	講師	原田　新一 ＜平成30年4月＞ 運動方法・武道（柔道）
兼任	講師	後藤　武秀 ＜平成30年4月＞ 国際情勢理解

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（1）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教職課程認定における事務的指摘により、三好仁司教授（兼担）の担当科目名称を「道徳教育の研究」から「道徳教育の指導法」に変更。
・本人都合により、小川理郎教授（兼担）の担当科目から「救急処置概論」を削除。後任として、朝日茂樹教授（兼担）に担当教員変更。
・本人都合により、町田輝雄教授（兼担）の担当科目から「哲学」を削除。
・教職課程認定における事務的指摘により、白旗和也教授（兼担）の担当科目名称を「特別活動の研究」から「特別活動の指導法」に変更。
・本人都合により、馬場進一郎准教授（兼担）の担当科目から「野外活動論」を削除。後任として、木原祐二准教授（兼担）に担当教員変更。
・平成29年4月昇任により、青柳徹准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、宇部弘子准教授（兼担）の担当科目名称を「教育カウンセリング」から「教育相談（カウンセリングを含む）」に変更。
・平成29年4月昇任により、大本洋嗣准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・平成29年4月昇任により、伊藤雅充准教授（兼担）から教授（兼担）に変更。
・三村覚准教授（兼担）就任辞退により、「心理学」の担当教員を市川優一郎准教授（兼担）に変更。
・平成29年4月昇任により、佐野昌行助教（兼担）から准教授（兼担）に変更。
・田中理恵助教（兼担）就任辞退により、「運動方法・器械運動」の担当教員を畠田好章教授（兼担）、瀬尾京子教授（兼担）に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、藤原三津男講師（兼任）の担当科目名称を「教育経営」から「教育の制度と経営」に変更。
・教職課程認定における事務的指摘により、鳥山康夫講師（兼任）の担当科目名称を「学習指導論」から「教育の方法と技術」に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・水泳」の担当教員に清水俊直講師（兼任）、中嶋崇光講師（兼任）、森田美雪講師（兼任）を追加。

【平成３０年度】

・時間割の都合により、「衛生学･公衆衛生学（運動衛生学を含む）」の担当教員が鈴川一宏教授（兼担）から金田英子教授（専任）に変更。
・時間割の都合により、「スポーツ文化研究B」の担当教員が鈴川一宏教授（兼担）、小林正利教授（兼担）、大石健二准教授（兼担）から金田英子教授（専任）に変更。
・時間割の都合により、「英語コミュニケーションⅡ」の担当教員が山口和之教授（専任）から市川純助教（兼担）に変更。
・平成30年4月昇任により、村田由香里助教（兼担）から准教授（兼担）に変更。
・平成30年3月定年退職により、朝日茂樹教授（兼担）から講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、スーザン･ミラー教授（兼担）の担当科目に「基礎英語Ⅱ」を追加。
・教育指導体制充実のため、「スポーツ医学」の担当教員に遠藤直哉准教授（兼担）を追加。
・時間割の都合により、市川純助教（兼担）の担当科目に「英語コミュニケーションⅠ」「基礎英語Ⅰ」を追加。
・谷釜了正講師（兼任）就任辞退により、「身体文化論」「芸道論」の担当教員を持田大蔵講師（兼任）に変更。
・時間割の都合により、「キャリアデザインA」の担当教員が島津和代講師（兼任）、島原富士江講師（兼任）から金屋光彦講師（兼任）に変更。
・東島雅昌講師（兼任）就任辞退により、「国際情勢理解」の担当教員を後藤武秀講師（兼任）に変更。
・平成30年4月他学部に就任により、西村拓也講師（兼任）から教授（兼担）として就任。
・時間割の都合により、「運動方法・水泳」の担当教員が清水俊直講師（兼任）、中嶋崇光講師（兼任）、森田美雪講師（兼任）から遠藤大哉講師（兼任）、杉沼春美講師（兼任）、中田伸恵講師（兼任）に変更。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・武道（相撲）」の担当教員に伊東良助教（兼担）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法・陸上競技」の担当教員に古川佑生講師（兼任）を追加。
・教育指導体制充実のため、「運動方法･武道（柔道）」の担当教員に原田新一講師（兼任）を追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（2）専任教員数等

（2）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（2）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
7	3	0	1	11	7	3	0	1	11	7	3	0	1	11
（7）	（3）	（0）	（1）	（11）						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（2）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{11} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3） 専任教員辞任等の理由

（3）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1						
2						

合計（D）			後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注） ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1						
2						

合計（F）			後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注） ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（3）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注） ・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1						
2						

合計			後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （平成２８年８月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期課程） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設　置　時 （平成２８年８月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士後期課程） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設　置　時 （平成２９年７月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学スポーツマネジメント学部） 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。（スポーツマネジメント学科及びスポーツライフマネジメント学科）	留意事項	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。

設置計画履行状況調査時 （平成30年2月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士前期課程） 教育学研究科実践教科教育学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。
設置計画履行状況調査時 （平成30年2月）	同一設置者が設置する既設学部等（日本体育大学大学院教育学研究科実践教科教育学専攻博士後期課程） 教育学研究科実践教科教育学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を計画的に進める。	教員の年齢構成を考慮し、完成年度を踏まえつつ、随時公募を含めた教員採用計画を立て、教員組織の拡充を図る。 具体的には、完成年度65歳を超える教員について、担当分野の公募を含めた採用計画を進める。

（注）・ 「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。） と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・ 該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7　その他全般的事項

＜スポーツ文化学部　スポーツ国際学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ　委員会の設置状況

大学設置基準第25条第3項に「教育内容等の改善のための組織的な研修等」と定められ義務化されたＦＤ活動は、本学では平成18年4月1日より、副学長、学科長及び学長が必要と認めた者並びに関係部署職員により委員が組織され全学委員会として活動を展開していたが、平成30年4月1日よりインスティテューショナル・リサーチアンドエフェクティブネス室が設置され、ＦＤ活動の推進に関する事項を統括する。

FD委員会規程（平成18年3月7日教授会制定）　＜平成29年度まで適用＞

第1条　委員会規程第2条に基づき、FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第2条　委員会は、教育理念及び教育目標に基づき、教育活動、教授法及び教員の相互研鑽の支援並びに教育効果などに関して恒常的に検討を行い、教員の資質の向上を図ることを目的とする。

第3条　委員会は、次の事項について審議し、実施する。

(1)　FDに関する企画及び調査に関する事項

(2)　FDに関する報告書等の作成に関する事項

(3)　その他FDに関する活動を促進するための事項

2　委員会は、前項の事項を審議・実施するにあたり、他の本学委員会に委嘱することができるものとする。

第4条　委員会は、次の号に掲げる者をもって組織し、学長が委嘱する。

(1) 副学長

(2) 体育学部各学科 1名

(3) スポーツ文化学部各学科 1名

(4) 児童スポーツ教育学科各コース 1名

(5) 保健医療学部各学科 1名

(6) 大学改革推進室長

(7) 企画部長

(8) 企画部課程・評価課長

(9) その他学長が必要と認めた者 若干名

第5条　必要に応じ委員会に、重要事項を審議するため専門委員会を置くことができる。

第6条　委員会の庶務は、企画部課程・評価課が処理する。

第7条　この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

インスティテューショナル・リサーチ アンド エフェクティブネス室規程（平成30年3月23日学長制定）
＜平成30年度から適用＞

（趣旨）

第１条 この規程は、学校法人日本体育大学組織規程第12条に基づいて大学に置くインスティテューショナル・リサーチ アンド エフェクティブネス室（以下「IRE室」という。）について、業務、組織及び運営について定める。

（業務）

第２条 IRE室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 計画立案及び政策決定並びに意思決定に係る支援に関する事項
(2) 自己点検・評価及び認証評価に関する事項
(3) 内部質保証に関する事項
(4) 法令等の遵守に関する事項
(5) SD（Staff Development）及びFD（Faculty Development）の推進に関する事項
(6) 公表する情報に関する事項
(7) 学内外における高等教育に係る各種の情報に関する事項
(8) 各種の業務遂行及び内部質保証に関して、研究科・学部・学科・各部署への指導・統制に関する事項
(9) 学長補佐会議及び学部長会議の運営に関する事項
(10) その他、前各号に関する事項

（組織）

第３条 IRE室の構成員は、学校法人日本体育大学組織規程の定めにより置く。

（改廃）

第４条 この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附則

（施行日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年 6月 9日（金）　出席7名、委任10名、欠席4名

c　委員会の審議事項等

・授業評価アンケートの実施について
・FD委員会を運営するための会議体の設置について

② 実施状況

a　実施内容

これまで実施してきた授業評価アンケート結果の傾向分析を有効的に実施できるよう、同じ設問構成で実施した。

教育手法の共有や開発により教員の教育力向上を図ることを目的とした説明会や、学校や部活動における重大事件・事故を題材にした研修会を実施した。

教員が自身の研究内容を講演し、参加者と議論することにより研究交流の活性化や自己研鑽につなげることを目的として「マンスリー学術セミナー」を開催した。

b　実施方法

教学改革の推進（学生サポート環境の充実）の一環として導入した授業収録システム「GET Recorder」使用説明会を実施した。

学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会は全4回実施。各回題材を変え、専門家や事件・事故の当事者を招き講話いただいた。

マンスリー学術セミナーは、研究活動の推進や研究会の企画・開催等を行なう総合スポーツ科学研究センターの主催により、原則として毎月1回、同センターから依頼を受けた教員が講演を行なう。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・授業収録システム「GET Recorder」使用説明会

開催日：平成30年2月6日（火）　参加者 10名

・学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会（教員以外の参加者含む）

第1回 平成29年 6月30日（金）　参加者 300名

第2回 平成29年10月13日（金）　参加者 290名

第3回 平成29年11月 3日（金）　参加者　60名

第4回 平成29年12月14日（木）　参加者 300名

・マンスリー学術セミナー（教員以外の参加者含む）

第1回 平成29年 4月25日（火）　参加者 32名

第2回 平成29年 5月19日（金）　参加者 32名

第3回 平成29年 6月22日（木）　参加者 22名

第4回 平成29年 7月20日（木）　参加者 21名

第5回 平成29年10月19日（木）　参加者 24名

第6回 平成29年11月30日（木）　参加者 27名

第7回 平成29年12月15日（金）　参加者 20名

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>では、「授業」を切り口とした、担当教員と履修者のＩＣＴホットライン「クラスプロファイル」を有効活用しており、授業評価アンケートや採点、出席管理から授業資料の事前・事後配付、課題配信に至るまで、単位相当の授業管理を行っている。

授業評価アンケート設問に対する回答の状況や履修者から寄せられる意見などから、授業担当教員は、自らの授業方法の改善や修正、また、有効な授業方法の情報提供を行うほか、n-passの運用方法提案や機能修正の要望、さらには有効な使用方法の教授を求めるなど、授業改善と自身のスキルアップに取り組んでいる。

大学が提供する１時限９０分の授業をより効果的に行うため、先ずは、出席者の把握や、資料等の配付、課題の回収にかける時間を除去削減し、授業担当教員が学問の教授に集中できるよう、事務局は授業に係る周辺業務の効率化に積極的に参画している。各教員は、これら効率化の先に授業内容の充実を展開し、大学は、カリキュラム改革、組織の整備改善等に取り組む。

また、ICTを活用した学習支援サービスにあっては、「n-pass」に加えて、平成27年4月にオンライン教育サポートシステム「GAKUEN EduTrack」<通称n-track(エヌ・トラック)>を導入した。このシステムの学内リリースにより、個々の教員のITスキルや情報リテラシーの高低を問わない次世代の学習支援方法が具現化するため、授業時間外の学習範囲やその深度が増し、授業では対話型学習などの理想的な「反転授業」が実践できるなど、学生は主体的に学べる真の学習環境が得られる。さらに、平成29年6月に授業収録システム「GET Recorder」を導入したことにより「n-track」の更なる活用等が見込まれる。これらのICTを活用した先端的教育機能の積極的導入により、飛躍的な教育改革を推進することができる教育環境も整えられたことから、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学び（アクティブラーニング）の導入など、授業方法等を革新するために、これらの具体的手法や活用方法などについて、教員への教育や研修等に積極的に取り組む。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

前学期：平成29年 7月 6日（木）～平成29年 8月21日（月）　　回答結果公表　8月22日（火）

後学期：平成29年12月19日（火）～平成30年 2月15日（木）　　回答結果公表　2月16日（金）

b　教員や学生への公開状況，方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORTの専用メニューを使用し実施。各教科の授業担当教員と履修する個々の学生が結びついており、アンケートの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化（視覚化）されたものが、授業ごとに当該授業担当教員及び当該履修学生に即時還元される。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツ文化学部は、国際社会に対して日本の精神に根ざしたスポーツによる開発援助、国際協力、国際交流などの実践的な技術や理論を推進できるような人材を養成することを目的とし、平成29年度に開設した。

開設年度の入学試験状況は入学定員200名（武道教育学科100名、スポーツ国際学科100名）に対し、本学部志願者総数821名（倍率4.1倍　武道教育学科 1.69倍、スポーツ国際学科 6.52倍）、入学者数206名（定員倍率1.03倍　武道教育学科 1.04倍、スポーツ国際学科 1.02倍）である。

開設2年目の入学試験状況は、入学定員200名（武道教育学科100名、スポーツ国際学科100名）に対し、本学部志願者総数632名（倍率3.16倍　武道教育学科 1.43倍、スポーツ国際学科 4.89倍）、入学者数208名（定員倍率1.04倍　武道教育学科 1.0倍、スポーツ国際学科 1.08倍）である。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成33年度に公表予定。

b　公表方法

・大学ホームページ上に公開（http://www.nittai.ac.jp/）

③　認証評価を受ける計画

平成27年度（2015）に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、『日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している』との判定を受けた。よって平成34年度（2022）に受審予定である。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　　（　有　・　無　）

b　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　　（　平成30　年　6月 30日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。